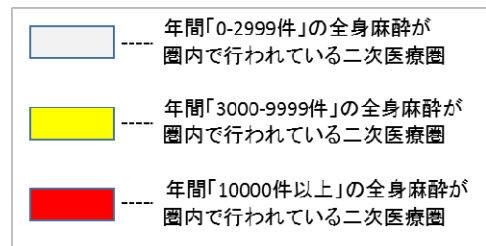
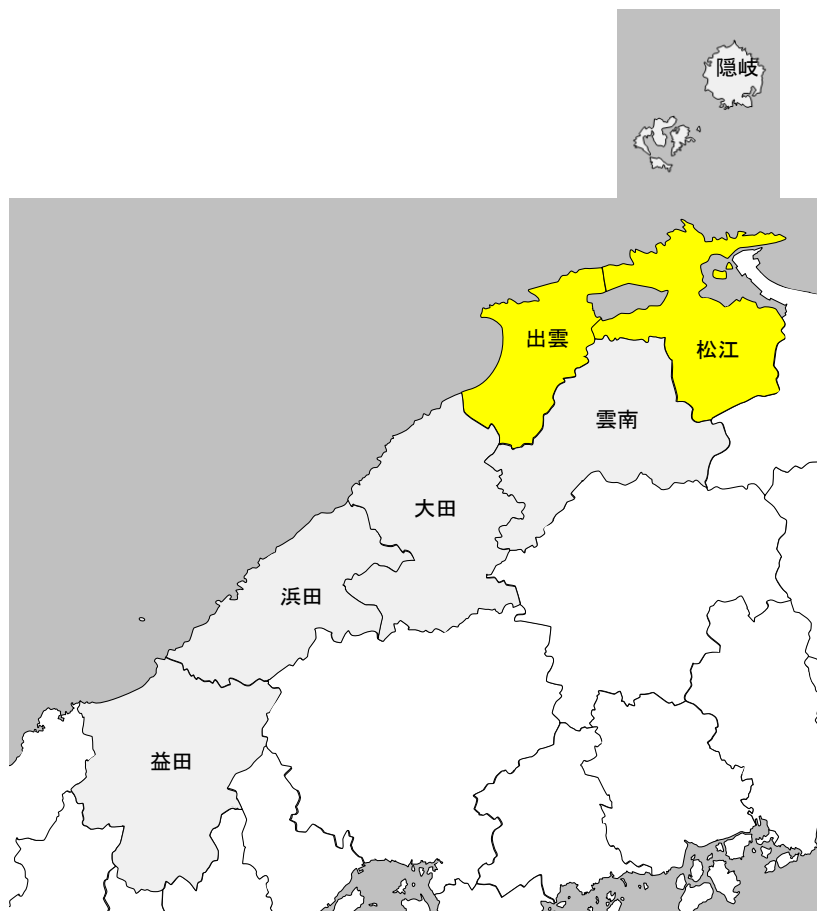


32. 島根県



目次

島根県	32	-	3
1. 松江医療圏	32	-	9
2. 雲南医療圏	32	-	15
3. 出雲医療圏	32	-	21
4. 大田医療圏	32	-	27
5. 浜田医療圏	32	-	33
6. 益田医療圏	32	-	39
7. 隠岐医療圏	32	-	45

島根県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は77,089人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は256人(16%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は271人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

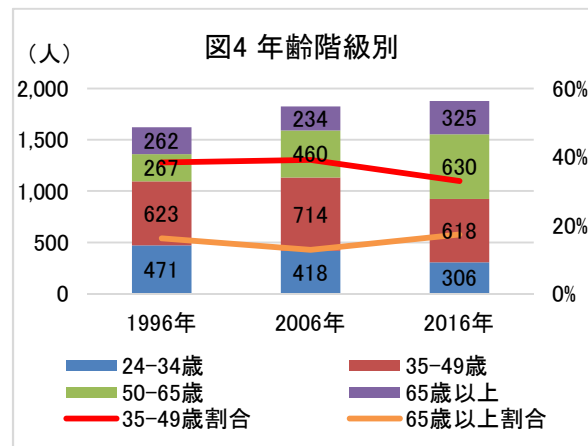
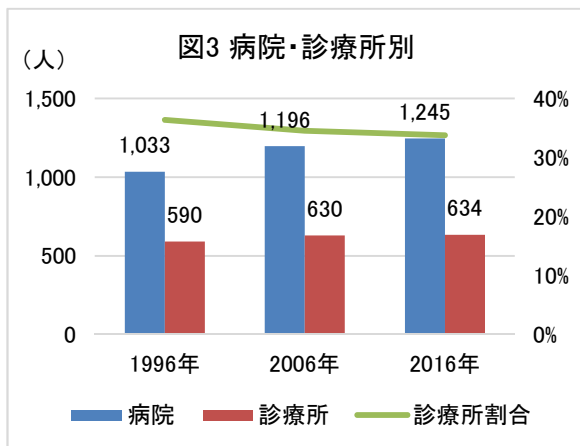
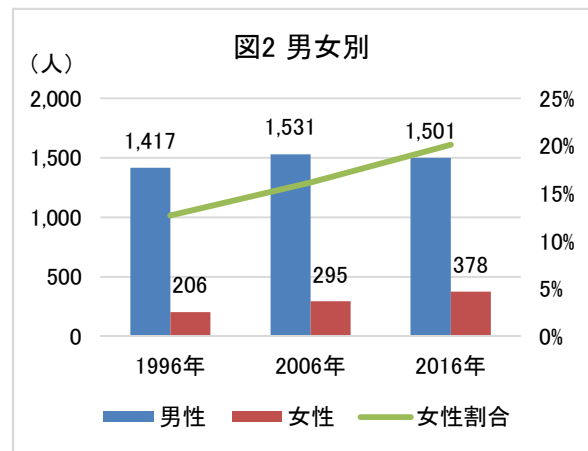
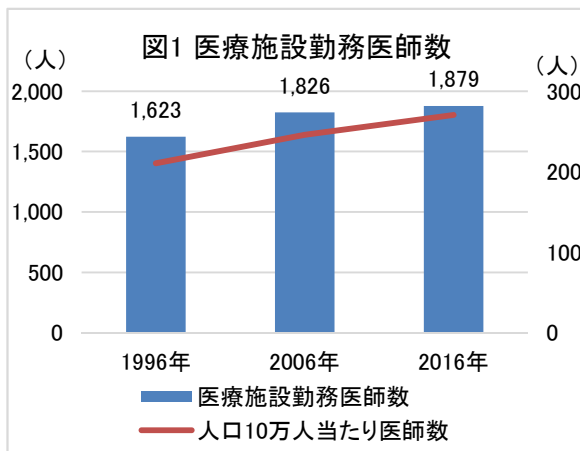
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて84人(6%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に172人(83%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて212人(21%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に44人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は5人(-1%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて63人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年17%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

島根県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	771,441	742,223	694,352	-77,089	-10%	-29,218	-4%	-47,871	-6%	
総医師数	1,715	1,939	1,975	260	15%	224	13%	36	2%	
人口10万対	222.3	261.2	284.4	62.1	28%	38.9	18%	23.2	9%	
医療施設勤務医師数	1,623	1,826	1,879	256	16%	203	13%	53	3%	
人口10万対	210.4	246.0	270.6	60.2	29%	35.6	17%	24.6	10%	
男性医師数	1,417	1,531	1,501	84	6%	114	8%	-30	-2%	
人口10万対	183.7	206.3	216.2	32.5	18%	22.6	12%	9.9	5%	
女性医師数	206	295	378	172	83%	89	43%	83	28%	
人口10万対	26.7	39.7	54.4	27.7	104%	13.0	49%	14.7	37%	
病院勤務医師数	1,033	1,196	1,245	212	21%	163	16%	49	4%	
人口10万対	133.9	161.1	179.3	45.4	34%	27.2	20%	18.2	11%	
診療所勤務医師数	590	630	634	44	7%	40	7%	4	1%	
人口10万対	76.5	84.9	91.3	14.8	19%	8.4	11%	6.4	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.3	47.5	50.6	4.4	9%	1.2	3%	3.1	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	471	418	306	-165	-35%	-53	-11%	-112	-27%
	35-49歳	623	714	618	-5	-1%	91	15%	-96	-13%
	50-64歳	267	460	630	363	136%	193	72%	170	37%
	65歳以上	262	234	325	63	24%	-28	-11%	91	39%
	75歳以上(再掲)	79	114	89	10	13%	35	44%	-25	-22%
男性	24-34歳	369	292	195	-174	-47%	-77	-21%	-97	-33%
	35-49歳	560	598	446	-114	-20%	38	7%	-152	-25%
	50-64歳	253	427	559	306	121%	174	69%	132	31%
	65歳以上	235	214	301	66	28%	-21	-9%	87	41%
	75歳以上(再掲)	68	103	81	13	19%	35	51%	-22	-21%
女性	24-34歳	102	126	111	9	9%	24	24%	-15	-12%
	35-49歳	63	116	172	109	173%	53	84%	56	48%
	50-64歳	14	33	71	57	407%	19	136%	38	115%
	65歳以上	27	20	24	-3	-11%	-7	-26%	4	20%
	75歳以上(再掲)	11	11	8	-3	-27%	0	0%	-3	-27%
病院	24-34歳	456	409	302	-154	-34%	-47	-10%	-107	-26%
	35-49歳	425	519	488	63	15%	94	22%	-31	-6%
	50-64歳	115	227	356	241	210%	112	97%	129	57%
	65歳以上	37	41	99	62	168%	4	11%	58	141%
	75歳以上(再掲)	11	8	21	10	91%	-3	-27%	13	163%
診療所	24-34歳	15	9	4	-11	-73%	-6	-40%	-5	-56%
	35-49歳	198	195	130	-68	-34%	-3	-2%	-65	-33%
	50-64歳	152	233	274	122	80%	81	53%	41	18%
	65歳以上	225	193	226	1	0%	-32	-14%	33	17%
	75歳以上(再掲)	68	106	68	0	0%	38	56%	-38	-36%
	85歳以上(再掲)	16	15	16	0	0%	-1	-6%	1	7%

島根県

＜医師数の推移＞

島根県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、リハビリテーション科、麻酔科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,623	210.4	53	1,826	246.0	55	1,879	270.6	53	256	16%	60.2	29%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	699	90.6	55	717	96.6	56	755	108.7	56	56	8%	18.1	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	100	13.0	54	104	14.0	56	100	14.4	52	0	0%	1.4	11%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	75	9.7	54	94	12.7	56	117	16.9	58	42	56%	7.1	73%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	168	21.8	51	146	19.7	52	119	17.1	48	-49	-29%	-4.6	-21%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.5	51	4	0.5	50	5	0.7	51	1	25%	0.2	39%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	9	1.2	47	17	2.3	52	19	2.7	52	10	111%	1.6	135%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	39	5.1	52	40	5.4	52	37	5.3	48	-2	-5%	0.3	5%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	116	15.0	54	140	18.9	58	124	17.9	52	8	7%	2.8	19%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	7	0.9	49	8	1.1	47	12	1.7	48	5	71%	0.8	90%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	50	6.5	53	48	6.5	51	51	7.3	51	1	2%	0.9	13%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	59	7.6	48	61	8.2	46	68	9.8	49	9	15%	2.1	28%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	55	7.1	50	54	7.3	51	47	6.8	48	-8	-15%	-0.4	-5%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	39	5.1	54	51	6.9	59	47	6.8	55	8	21%	1.7	34%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	78	10.1	51	76	10.2	53	71	10.2	50	-7	-9%	0.1	1%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	0.6	49	23	3.1	64	23	3.3	59	18	360%	2.7	411%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	40	5.2	56	45	6.1	57	46	6.6	54	6	15%	1.4	28%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	43	5.6	55	52	7.0	56	73	10.5	57	30	70%	4.9	89%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				13	1.8	53	16	2.3	49	3	23%	0.6	32%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				99	13.3	52	95	13.7	51	95	-4%	0.3	3%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	37	4.8	51	34	4.6	49	54	7.8	51	17	46%	3.0	62%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

島根県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は139,728人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は9人(0%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は337人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は25%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

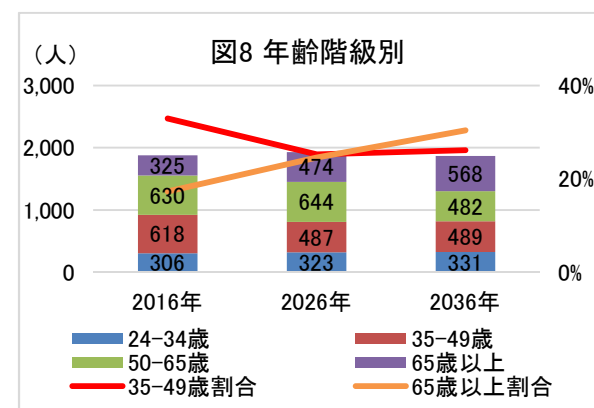
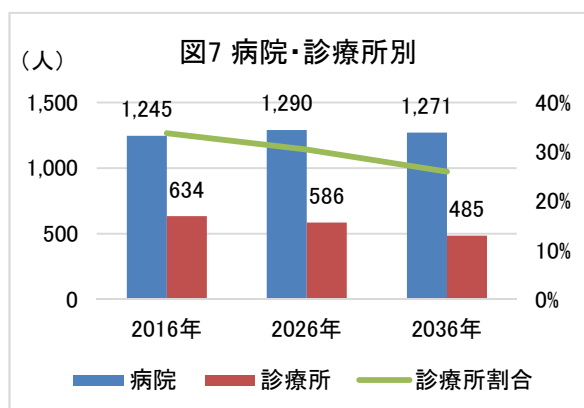
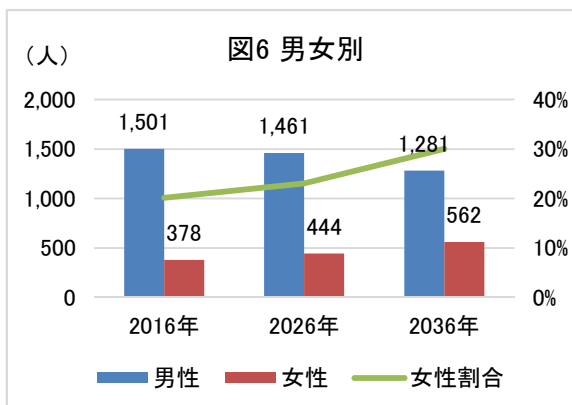
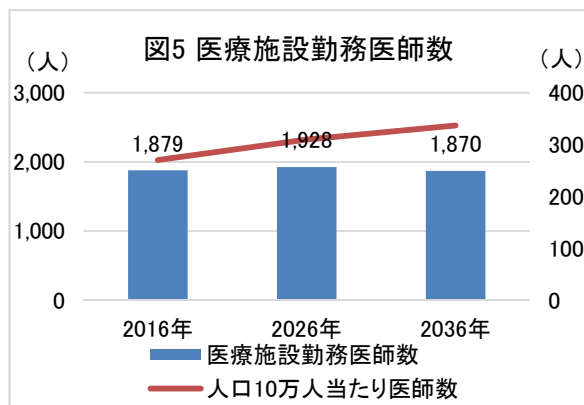
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて220人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に184人(49%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて26人(2%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に149人(-24%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は129人(-21%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて243人(75%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



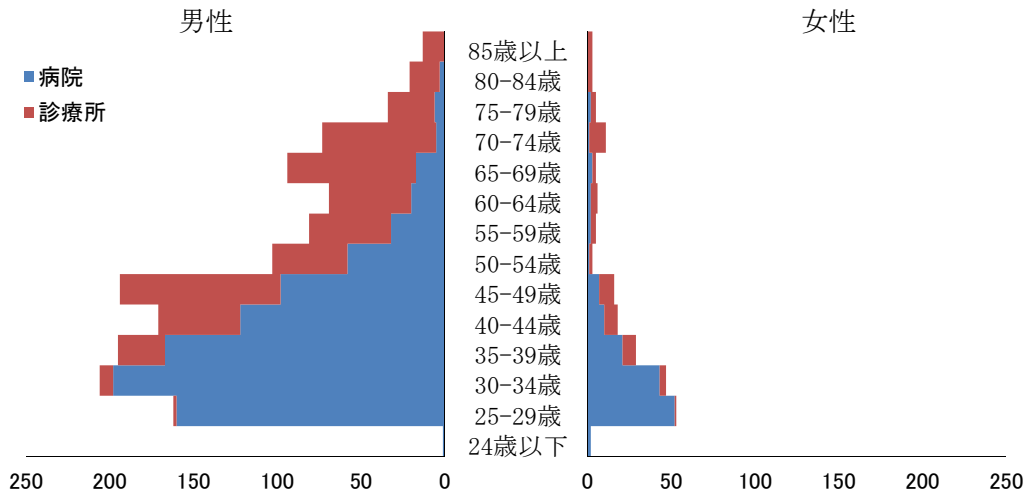
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

島根県

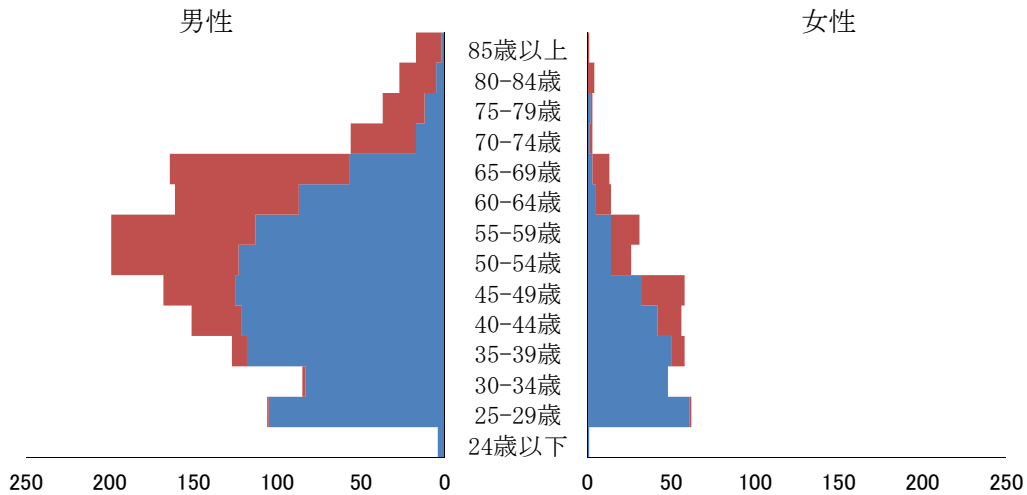
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

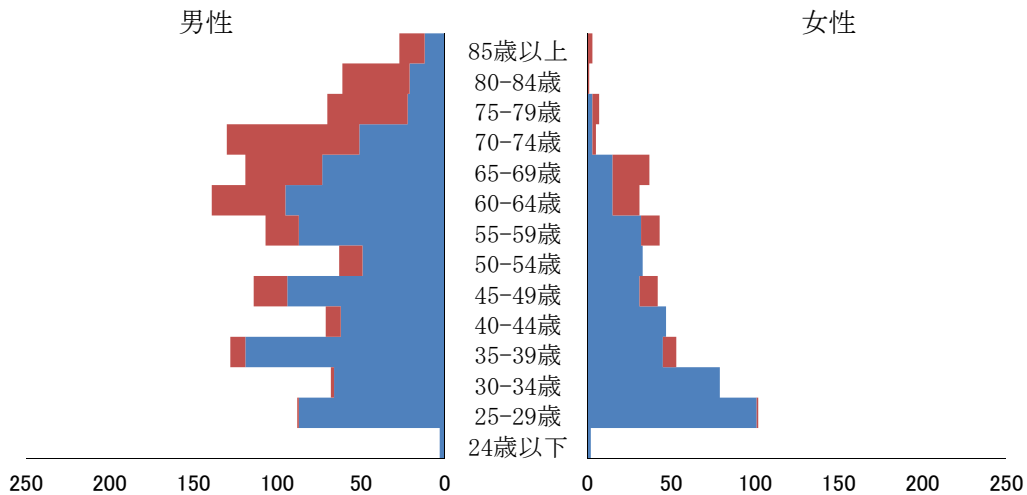
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

島根県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	694,352	621,882	554,624	-139,728	-20%	-72,470	-10%	-67,258	-11%	
医療施設勤務医師数	1,879	1,928	1,870	-9	0%	49	3%	-58	-3%	
人口10万対	270.6	310.0	337.2	66.6	25%	39.4	15%	27.1	9%	
男性医師数	1,501	1,461	1,281	-220	-15%	-40	-3%	-180	-12%	
人口10万対	216.2	234.9	231.0	14.8	7%	18.8	9%	-4.0	-2%	
女性医師数	378	444	562	184	49%	66	17%	118	27%	
人口10万対	54.4	71.4	101.3	46.9	86%	17.0	31%	29.9	42%	
病院勤務医師数	1,245	1,290	1,271	26	2%	45	4%	-19	-1%	
人口10万対	179.3	207.4	229.2	49.9	28%	28.1	16%	21.7	10%	
診療所勤務医師数	634	586	485	-149	-24%	-48	-8%	-101	-17%	
人口10万対	91.3	94.2	87.4	-3.9	-4%	2.9	3%	-6.8	-7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	306	323	331	25	8%	17	6%	8	2%
	35-49歳	618	487	489	-129	-21%	-131	-21%	2	0%
	50-64歳	630	644	482	-148	-23%	14	2%	-162	-25%
	65歳以上	325	474	568	243	75%	149	46%	94	20%
	75歳以上(再掲)	89	150	221	132	148%	61	69%	71	47%
男性	24-34歳	195	205	158	-37	-19%	10	5%	-47	-23%
	35-49歳	446	319	326	-120	-27%	-127	-28%	7	2%
	50-64歳	559	512	332	-227	-41%	-47	-8%	-180	-35%
	65歳以上	301	425	465	164	54%	124	41%	40	9%
	75歳以上(再掲)	81	142	187	106	131%	61	75%	45	32%
女性	24-34歳	111	117	184	73	66%	6	5%	67	57%
	35-49歳	172	162	153	-19	-11%	-10	-6%	-9	-6%
	50-64歳	71	118	135	64	90%	47	66%	17	14%
	65歳以上	24	47	90	66	275%	23	96%	43	91%
	75歳以上(再掲)	8	7	19	11	138%	-1	-13%	12	171%
病院	24-34歳	302	319	326	24	8%	17	6%	7	2%
	35-49歳	488	395	399	-89	-18%	-93	-19%	4	1%
	50-64歳	356	408	324	-32	-9%	52	15%	-84	-21%
	65歳以上	99	168	222	123	124%	69	70%	54	32%
	75歳以上(再掲)	21	42	76	55	262%	21	100%	34	81%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	130	62	63	-67	-52%	-68	-52%	1	2%
	50-64歳	274	236	116	-158	-58%	-38	-14%	-120	-51%
	65歳以上	226	284	302	76	34%	58	26%	18	6%
	75歳以上(再掲)	68	102	128	60	88%	34	50%	26	25%
	85歳以上(再掲)	16	10	17	1	6%	-6	-38%	7	70%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

松江医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は7,894人(-3%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は117人(24%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は249人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

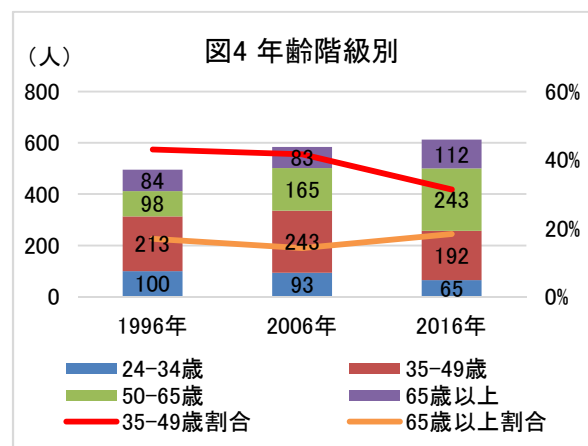
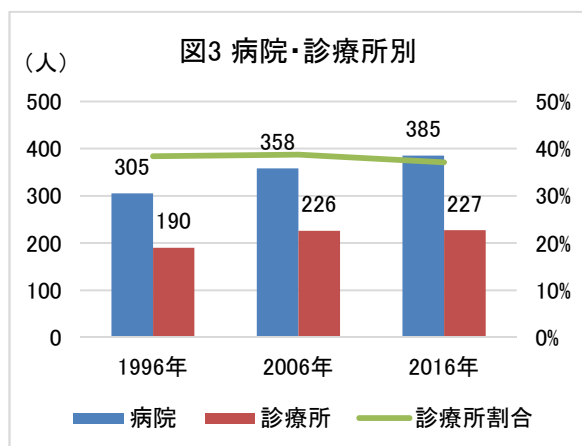
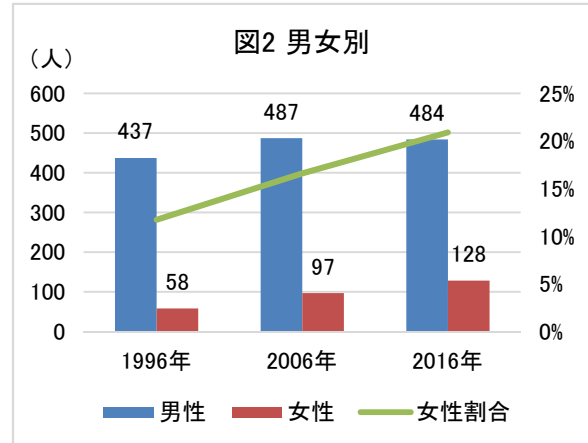
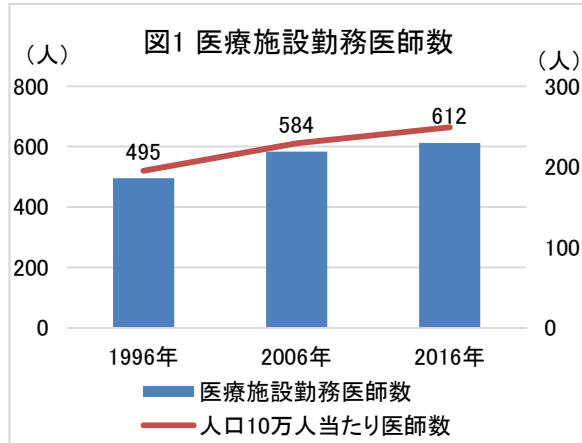
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて47人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に70人(121%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて80人(26%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に37人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は37%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は21人(-10%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて28人(33%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

松江医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	253,652	254,635	245,758	-7,894	-3%	983	0%	-8,877	-3%	
総医師数	524	627	644	120	23%	103	20%	17	3%	
人口10万対	206.6	246.2	262.0	55.5	27%	39.7	19%	15.8	6%	
医療施設勤務医師数	495	584	612	117	24%	89	18%	28	5%	
人口10万対	195.1	229.3	249.0	53.9	28%	34.2	18%	19.7	9%	
男性医師数	437	487	484	47	11%	50	11%	-3	-1%	
人口10万対	172.3	191.3	196.9	24.7	14%	19.0	11%	5.7	3%	
女性医師数	58	97	128	70	121%	39	67%	31	32%	
人口10万対	22.9	38.1	52.1	29.2	128%	15.2	67%	14.0	37%	
病院勤務医師数	305	358	385	80	26%	53	17%	27	8%	
人口10万対	120.2	140.6	156.7	36.4	30%	20.3	17%	16.1	11%	
診療所勤務医師数	190	226	227	37	19%	36	19%	1	0%	
人口10万対	74.9	88.8	92.4	17.5	23%	13.8	18%	3.6	4%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.3	49.2	52.5	4.2	9%	0.9	2%	3.4	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	100	93	65	-35	-35%	-7	-7%	-28	-30%
	35-49歳	213	243	192	-21	-10%	30	14%	-51	-21%
	50-64歳	98	165	243	145	148%	67	68%	78	47%
	65歳以上	84	83	112	28	33%	-1	-1%	29	35%
	75歳以上(再掲)	21	37	30	9	43%	16	76%	-7	-19%
男性	24-34歳	79	66	47	-32	-41%	-13	-16%	-19	-29%
	35-49歳	187	195	132	-55	-29%	8	4%	-63	-32%
	50-64歳	94	149	202	108	115%	55	59%	53	36%
	65歳以上	77	77	103	26	34%	0	0%	26	34%
	75歳以上(再掲)	19	34	26	7	37%	15	79%	-8	-24%
女性	24-34歳	21	27	18	-3	-14%	6	29%	-9	-33%
	35-49歳	26	48	60	34	131%	22	85%	12	25%
	50-64歳	4	16	41	37	925%	12	300%	25	156%
	65歳以上	7	6	9	2	29%	-1	-14%	3	50%
	75歳以上(再掲)	2	3	4	2	100%	1	50%	1	33%
病院	24-34歳	98	90	65	-33	-34%	-8	-8%	-25	-28%
	35-49歳	144	163	148	4	3%	19	13%	-15	-9%
	50-64歳	47	90	132	85	181%	43	91%	42	47%
	65歳以上	16	15	40	24	150%	-1	-6%	25	167%
	75歳以上(再掲)	6	2	6	0	0%	-4	-67%	4	200%
診療所	24-34歳	2	3	0	-2	-100%	1	50%	-3	-100%
	35-49歳	69	80	44	-25	-36%	11	16%	-36	-45%
	50-64歳	51	75	111	60	118%	24	47%	36	48%
	65歳以上	68	68	72	4	6%	0	0%	4	6%
	75歳以上(再掲)	15	35	24	9	60%	20	133%	-11	-31%
	85歳以上(再掲)	5	3	3	-2	-40%	-2	-40%	0	0%

松江医療圏

＜医師数の推移＞

松江医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、形成外科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、小児外科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、整形外科、産婦人科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	495	195.1	51	584	229.3	53	612	249.0	51	117	24%	53.9	28%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	212	83.6	52	230	90.3	54	226	92.0	51	14	7%	8.4	10%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	34	13.4	55	31	12.2	52	34	13.8	51	0	0%	0.4	3%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	26	10.3	56	39	15.3	62	45	18.3	61	19	73%	8.1	79%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	43	17.0	46	46	18.1	50	48	19.5	51	5	12%	2.6	15%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	5	2.0	52	6	2.4	52	5	2.0	48	0	0%	0.1	3%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	10	3.9	48	10	3.9	46	12	4.9	47	2	20%	0.9	24%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	48	18.9	62	47	18.5	58	44	17.9	52	-4	-8%	-1.0	-5%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	1.2	51	5	2.0	53	7	2.8	55	4	133%	1.7	141%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	14	5.5	50	17	6.7	52	14	5.7	46	0	0%	0.2	3%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	17	6.7	46	17	6.7	43	24	9.8	49	7	41%	3.1	46%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	17	6.7	49	18	7.1	50	18	7.3	50	1	6%	0.6	9%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	3.9	49	14	5.5	53	13	5.3	49	3	30%	1.3	34%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	26	10.3	51	25	9.8	52	23	9.4	48	-3	-12%	-0.9	-9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.8	51	7	2.7	61	9	3.7	61	7	350%	2.9	364%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	9	3.5	51	11	4.3	52	12	4.9	49	3	33%	1.3	38%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	13	5.1	53	15	5.9	53	23	9.4	55	10	77%	4.2	83%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				6	2.4	58	1	0.4	40	-5	-83%	-1.9	-83%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				28	11.0	50	33	13.4	50	33	18%	2.4	22%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	6	2.4	45	12	4.7	49	21	8.5	52	15	250%	6.2	261%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

松江医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は37,818人(-15%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は50人(-8%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は270人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は9%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

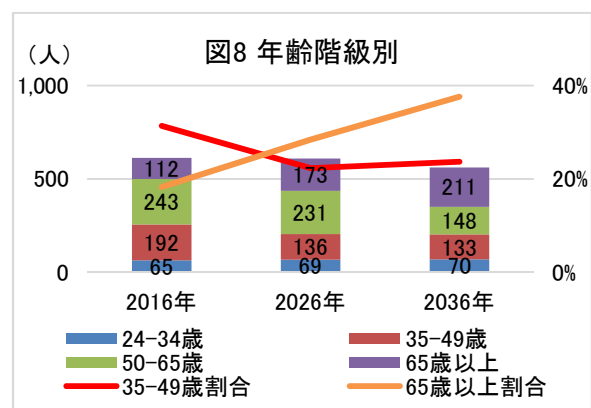
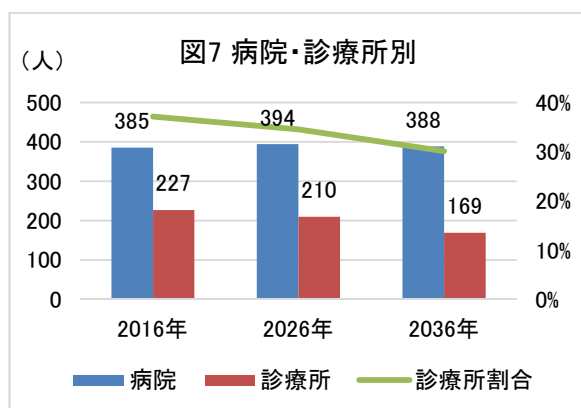
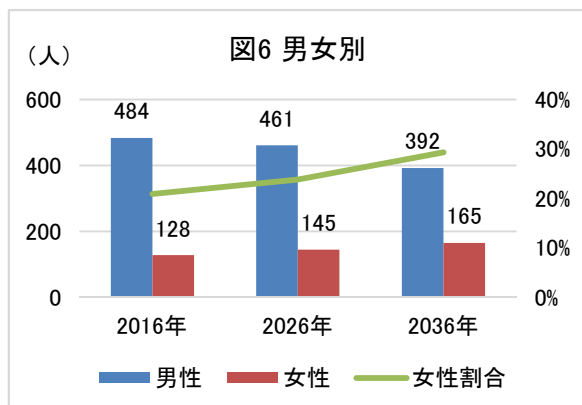
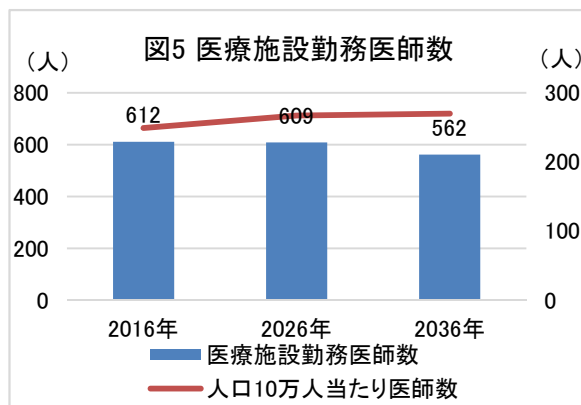
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて92人(-19%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に37人(29%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(1%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に58人(-26%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は59人(-31%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて99人(88%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年38%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



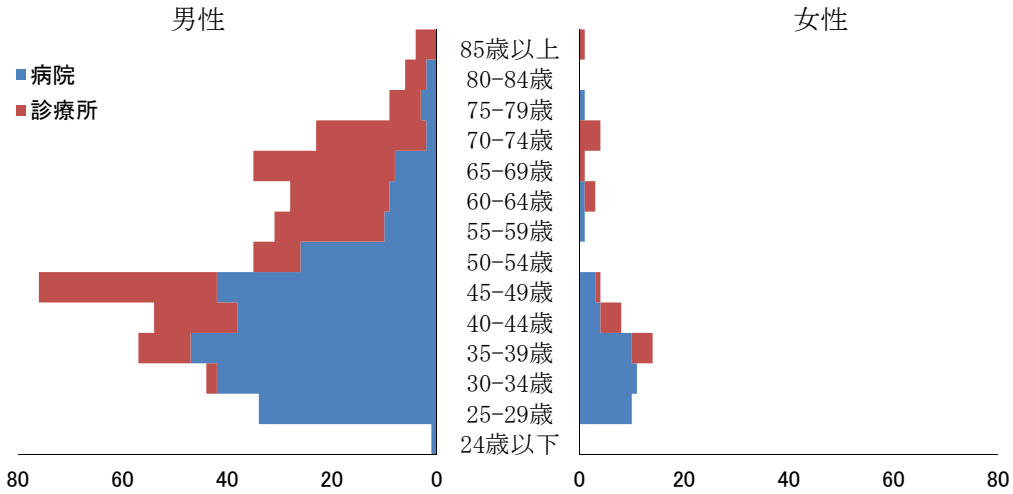
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

松江医療圏

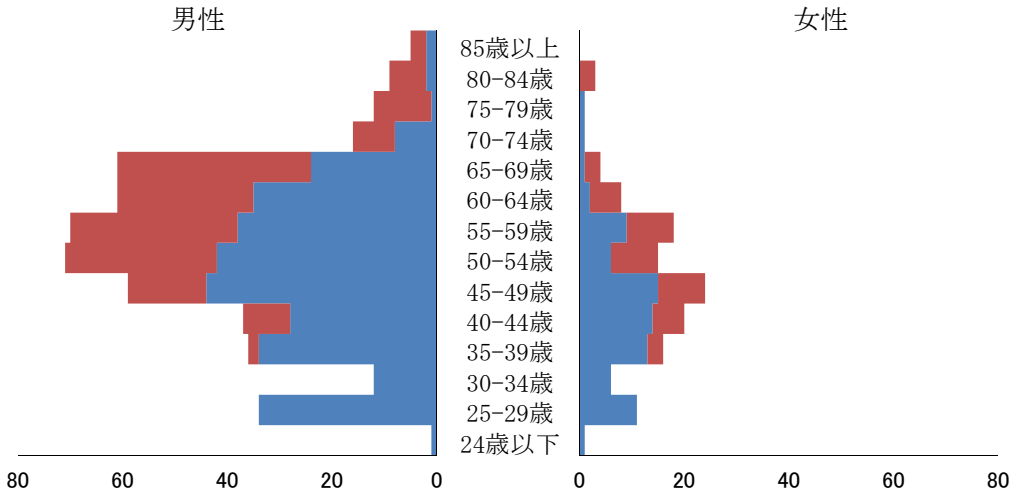
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

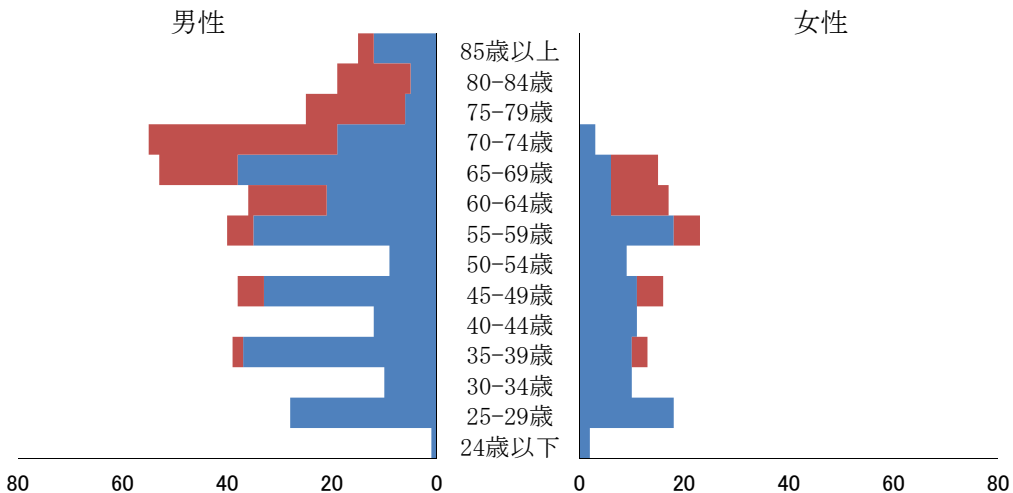
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

松江医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	245,758	227,905	207,940	-37,818	-15%	-17,853	-7%	-19,965	-9%	
医療施設勤務医師数	612	609	562	-50	-8%	-3	0%	-47	-8%	
人口10万対	249.0	267.2	270.3	21.2	9%	18.2	7%	3.1	1%	
男性医師数	484	461	392	-92	-19%	-23	-5%	-69	-15%	
人口10万対	196.9	202.3	188.5	-8.4	-4%	5.3	3%	-13.8	-7%	
女性医師数	128	145	165	37	29%	17	13%	20	14%	
人口10万対	52.1	63.6	79.3	27.3	52%	11.5	22%	15.7	25%	
病院勤務医師数	385	394	388	3	1%	9	2%	-6	-2%	
人口10万対	156.7	172.9	186.6	29.9	19%	16.2	10%	13.7	8%	
診療所勤務医師数	227	210	169	-58	-26%	-17	-7%	-41	-20%	
人口10万対	92.4	92.1	81.3	-11.1	-12%	-0.2	0%	-10.9	-12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	65	69	70	5	8%	4	6%	1	1%
	35-49歳	192	136	133	-59	-31%	-56	-29%	-3	-2%
	50-64歳	243	231	148	-95	-39%	-12	-5%	-83	-36%
	65歳以上	112	173	211	99	88%	61	54%	38	22%
	75歳以上(再掲)	30	50	75	45	150%	20	67%	25	50%
男性	24-34歳	47	50	39	-8	-17%	3	6%	-11	-22%
	35-49歳	132	93	96	-36	-27%	-39	-30%	3	3%
	50-64歳	202	172	95	-107	-53%	-30	-15%	-77	-45%
	65歳以上	103	146	162	59	57%	43	42%	16	11%
	75歳以上(再掲)	26	43	57	31	119%	17	65%	14	33%
女性	24-34歳	18	19	30	12	67%	1	6%	11	58%
	35-49歳	60	44	39	-21	-35%	-16	-27%	-5	-11%
	50-64歳	41	61	58	17	41%	20	49%	-3	-5%
	65歳以上	9	21	38	29	322%	12	133%	17	81%
	75歳以上(再掲)	4	1	8	4	100%	-3	-75%	7	700%
病院	24-34歳	65	69	70	5	8%	4	6%	1	1%
	35-49歳	148	111	111	-37	-25%	-37	-25%	0	0%
	50-64歳	132	140	98	-34	-26%	8	6%	-42	-30%
	65歳以上	40	74	109	69	173%	34	85%	35	47%
	75歳以上(再掲)	6	18	38	32	533%	12	200%	20	111%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	44	15	15	-29	-66%	-29	-66%	0	0%
	50-64歳	111	92	35	-76	-68%	-19	-17%	-57	-62%
	65歳以上	72	103	119	47	65%	31	43%	16	16%
	75歳以上(再掲)	24	31	48	24	100%	7	29%	17	55%
	85歳以上(再掲)	3	2	3	0	0%	-1	-33%	1	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

雲南医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は15,441人(-21%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は15人(-16%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は135人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は6%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

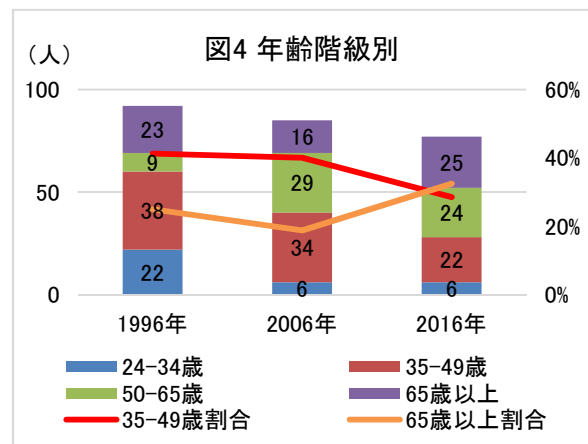
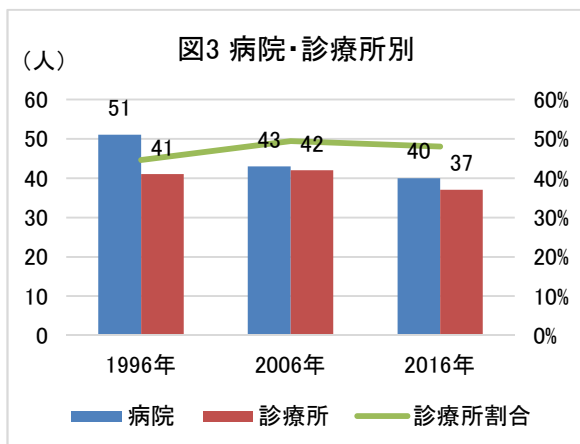
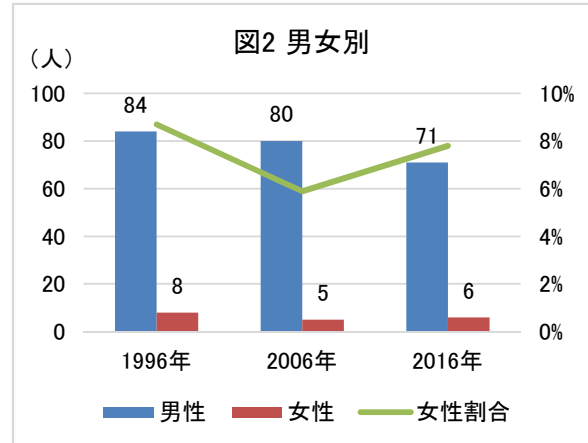
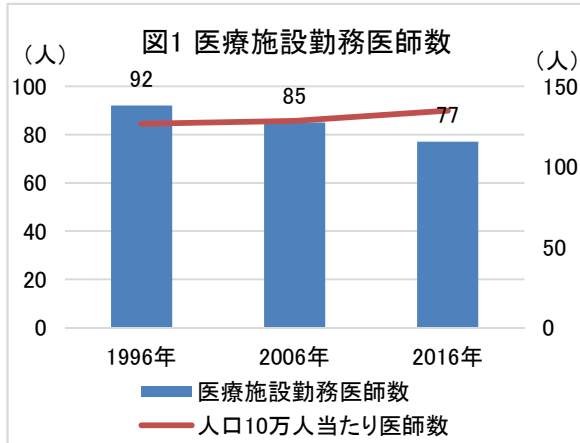
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて13人(-15%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-25%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて11人(-22%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は48%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は16人(-42%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(9%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年25%、2016年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

雲南医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	72,567	66,194	57,126	-15,441	-21%	-6,373	-9%	-9,068	-14%	
総医師数	95	90	80	-15	-16%	-5	-5%	-10	-11%	
人口10万対	130.9	136.0	140.0	9.1	7%	5.1	4%	4.1	3%	
医療施設勤務医師数	92	85	77	-15	-16%	-7	-8%	-8	-9%	
人口10万対	126.8	128.4	134.8	8.0	6%	1.6	1%	6.4	5%	
男性医師数	84	80	71	-13	-15%	-4	-5%	-9	-11%	
人口10万対	115.8	120.9	124.3	8.5	7%	5.1	4%	3.4	3%	
女性医師数	8	5	6	-2	-25%	-3	-38%	1	20%	
人口10万対	11.0	7.6	10.5	-0.5	-5%	-3.5	-31%	2.9	39%	
病院勤務医師数	51	43	40	-11	-22%	-8	-16%	-3	-7%	
人口10万対	70.3	65.0	70.0	-0.3	0%	-5.3	-8%	5.1	8%	
診療所勤務医師数	41	42	37	-4	-10%	1	2%	-5	-12%	
人口10万対	56.5	63.4	64.8	8.3	15%	7.0	12%	1.3	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.3	53.2	56.2	6.9	14%	3.9	8%	3.1	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	22	6	6	-16	-73%	-16	-73%	0	0%
	35-49歳	38	34	22	-16	-42%	-4	-11%	-12	-35%
	50-64歳	9	29	24	15	167%	20	222%	-5	-17%
	65歳以上	23	16	25	2	9%	-7	-30%	9	56%
	75歳以上(再掲)	6	11	6	0	0%	5	83%	-5	-45%
男性	24-34歳	19	6	4	-15	-79%	-13	-68%	-2	-33%
	35-49歳	36	31	19	-17	-47%	-5	-14%	-12	-39%
	50-64歳	9	28	24	15	167%	19	211%	-4	-14%
	65歳以上	20	15	24	4	20%	-5	-25%	9	60%
	75歳以上(再掲)	5	10	6	1	20%	5	100%	-4	-40%
女性	24-34歳	3	0	2	-1	-33%	-3	-100%	2	
	35-49歳	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
	50-64歳	0	1	0	0		1		-1	-100%
	65歳以上	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	22	6	5	-17	-77%	-16	-73%	-1	-17%
	35-49歳	24	21	11	-13	-54%	-3	-13%	-10	-48%
	50-64歳	2	15	15	13	650%	13	650%	0	0%
	65歳以上	3	1	9	6	200%	-2	-67%	8	800%
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
診療所	24-34歳	0	0	1	1		0		1	
	35-49歳	14	13	11	-3	-21%	-1	-7%	-2	-15%
	50-64歳	7	14	9	2	29%	7	100%	-5	-36%
	65歳以上	20	15	16	-4	-20%	-5	-25%	1	7%
	75歳以上(再掲)	6	11	5	-1	-17%	5	83%	-6	-55%
	85歳以上(再掲)	1	1	3	2	200%	0	0%	2	200%

雲南医療圏

＜医師数の推移＞

雲南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、耳鼻咽喉科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	92	126.8	43	85	128.4	40	77	134.8	38	-15	-16%	8.0	6%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	50	68.9	48	48	72.5	48	46	80.5	47	-4	-8%	11.6	17%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	6.9	41	5	7.6	41	3	5.3	35	-2	-40%	-1.6	-24%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	4.1	40	1	1.5	32	3	5.3	37	0	0%	1.1	27%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	11	15.2	44	12	18.1	50	6	10.5	39	-5	-45%	-4.7	-31%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.8	43	1	1.5	36	1	1.8	34	-1	-50%	-1.0	-36%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	7	9.6	43	7	10.6	41	8	14.0	45	1	14%	4.4	45%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.8	42	1	1.5	36	1	1.8	35	-1	-50%	-1.0	-36%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	1	1.4	34	1	1.5	30	1	1.8	29	0	0%	0.4	27%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.4	34	1	1.5	33	2	3.5	38	1	100%	2.1	154%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	4.1	50	3	4.5	49	2	3.5	42	-1	-33%	-0.6	-15%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	2	2.8	34	2	3.0	34	2	3.5	35	0	0%	0.7	27%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	2	3.0	63	1	1.8	49	1	100%	1.8	100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	1.4	44	1	1.5	42	0	0.0	36	-1	-100%	-1.4	-100%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.8	46	0	0.0	36	0	0.0	34	-2	-100%	-2.8	-100%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.8	46	0	0.0	40	1	1.8	40	-1	-50%	-1.0	-36%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

雲南医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は14,664人(-26%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は13人(-17%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は151人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

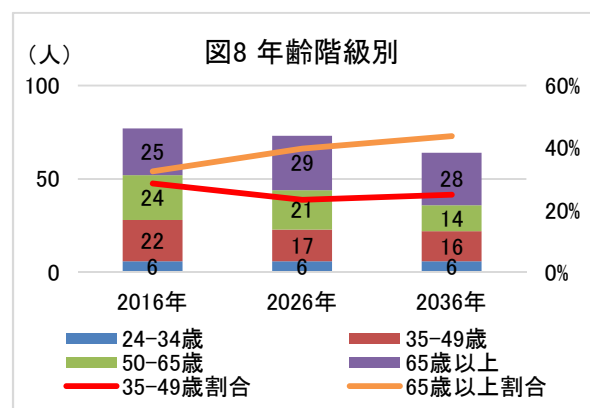
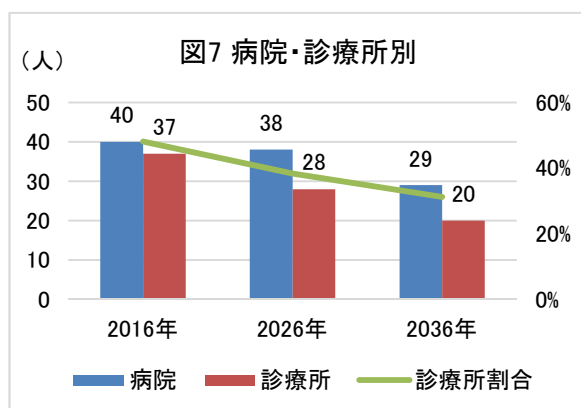
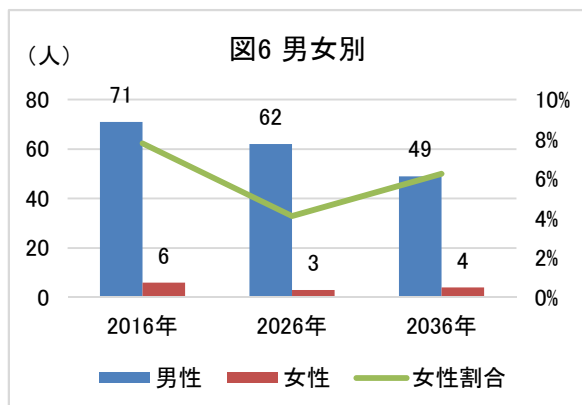
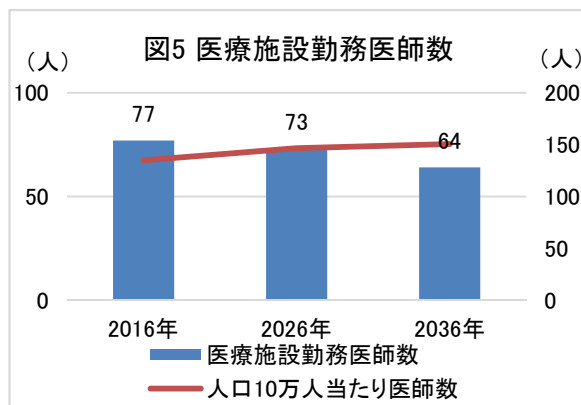
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて22人(-31%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-33%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は6%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて11人(-28%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に17人(-46%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は31%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は6人(-27%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて3人(12%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年32%、2036年44%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



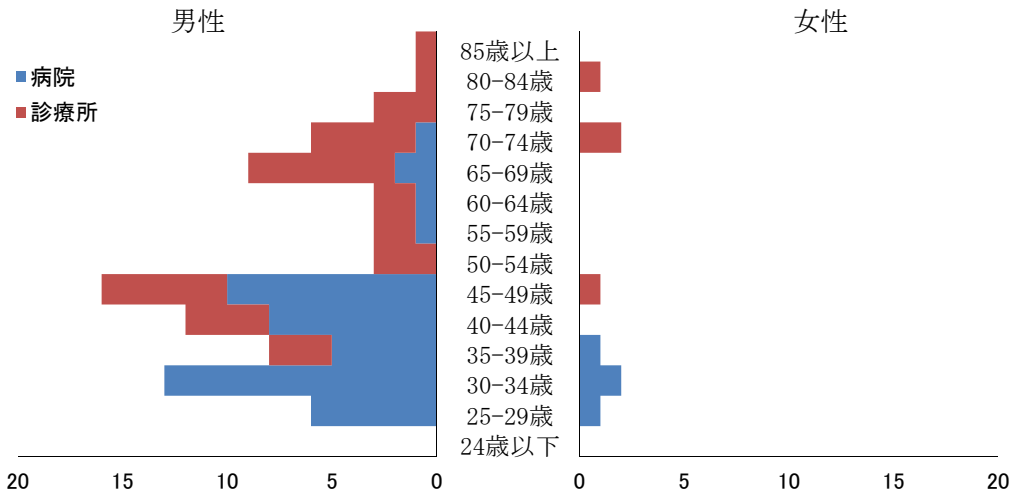
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

雲南医療圏

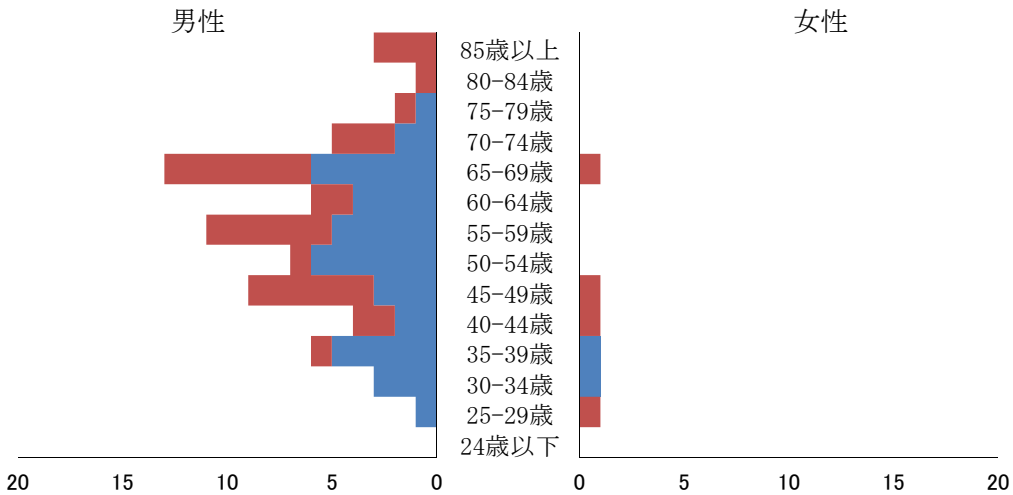
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

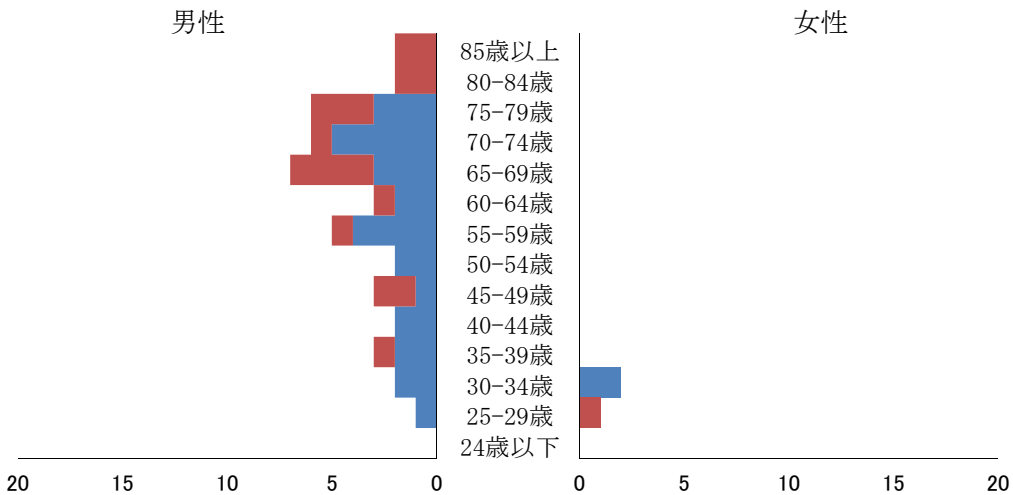
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

雲南医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	57,126	49,737	42,462	-14,664	-26%	-7,389	-13%	-7,275	-15%	
医療施設勤務医師数	77	73	64	-13	-17%	-4	-5%	-9	-12%	
人口10万対	134.8	146.8	150.7	15.9	12%	12.0	9%	4.0	3%	
男性医師数	71	62	49	-22	-31%	-9	-13%	-13	-21%	
人口10万対	124.3	124.7	115.4	-8.9	-7%	0.4	0%	-9.3	-7%	
女性医師数	6	3	4	-2	-33%	-3	-50%	1	33%	
人口10万対	10.5	6.0	9.4	-1.1	-10%	-4.5	-43%	3.4	56%	
病院勤務医師数	40	38	29	-11	-28%	-2	-5%	-9	-24%	
人口10万対	70.0	76.4	68.3	-1.7	-2%	6.4	9%	-8.1	-11%	
診療所勤務医師数	37	28	20	-17	-46%	-9	-24%	-8	-29%	
人口10万対	64.8	56.3	47.1	-17.7	-27%	-8.5	-13%	-9.2	-16%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	22	17	16	-6	-27%	-5	-23%	-1	-6%
	50-64歳	24	21	14	-10	-42%	-3	-13%	-7	-33%
	65歳以上	25	29	28	3	12%	4	16%	-1	-3%
	75歳以上(再掲)	6	14	13	7	117%	8	133%	-1	-7%
男性	24-34歳	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
	35-49歳	19	11	8	-11	-58%	-8	-42%	-3	-27%
	50-64歳	24	19	11	-13	-54%	-5	-21%	-8	-42%
	65歳以上	24	28	27	3	13%	4	17%	-1	-4%
	75歳以上(再掲)	6	14	13	7	117%	8	133%	-1	-7%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	50-64歳	0	0	0	0		0		0	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	11	7	6	-5	-45%	-4	-36%	-1	-14%
	50-64歳	15	14	7	-8	-53%	-1	-7%	-7	-50%
	65歳以上	9	12	11	2	22%	3	33%	-1	-8%
	75歳以上(再掲)	1	6	3	2	200%	5	500%	-3	-50%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	11	3	3	-8	-73%	-8	-73%	0	0%
	50-64歳	9	9	3	-6	-67%	0	0%	-6	-67%
	65歳以上	16	15	13	-3	-19%	-1	-6%	-2	-13%
	75歳以上(再掲)	5	7	7	2	40%	2	40%	0	0%
	85歳以上(再掲)	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

出雲医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は63人（0%）減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は185人（32%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は446人であり、全国平均（240人）と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均（31%）を上回る。

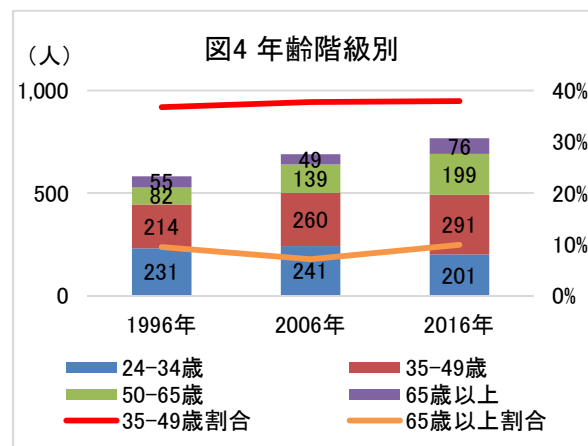
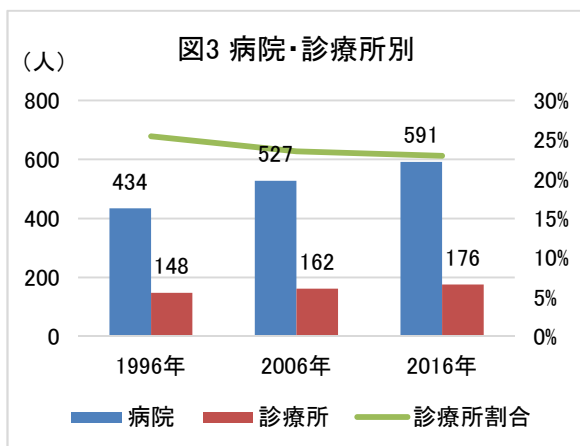
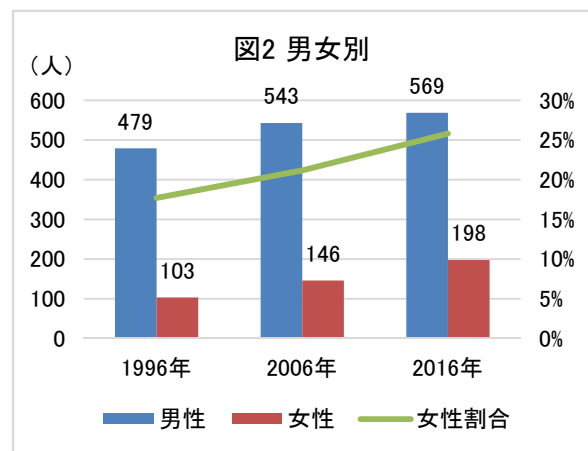
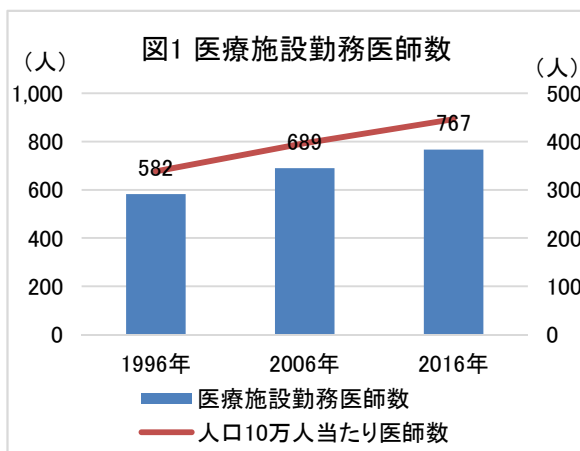
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて90人（19%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。女性医師は、同期間に95人（92%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は26%と、全国平均（21%）を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて157人（36%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に28人（19%）増え、全国平均（25%）を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は23%と、全国平均（34%）を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は77人（36%）増え、全国平均（11%）を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて21人（38%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年9%、2016年10%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

出雲医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	172,001	173,751	171,938	-63	0%	1,750	1%	-1,813	-1%	
総医師数	626	739	804	178	28%	113	18%	65	9%	
人口10万対	364.0	425.3	467.6	103.7	28%	61.4	17%	42.3	10%	
医療施設勤務医師数	582	689	767	185	32%	107	18%	78	11%	
人口10万対	338.4	396.5	446.1	107.7	32%	58.2	17%	49.5	12%	
男性医師数	479	543	569	90	19%	64	13%	26	5%	
人口10万対	278.5	312.5	330.9	52.4	19%	34.0	12%	18.4	6%	
女性医師数	103	146	198	95	92%	43	42%	52	36%	
人口10万対	59.9	84.0	115.2	55.3	92%	24.1	40%	31.1	37%	
病院勤務医師数	434	527	591	157	36%	93	21%	64	12%	
人口10万対	252.3	303.3	343.7	91.4	36%	51.0	20%	40.4	13%	
診療所勤務医師数	148	162	176	28	19%	14	9%	14	9%	
人口10万対	86.0	93.2	102.4	16.3	19%	7.2	8%	9.1	10%	
医療施設勤務医 平均年齢	42.0	43.3	45.8	3.8	9%	1.3	3%	2.6	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	231	241	201	-30	-13%	10	4%	-40	-17%
	35-49歳	214	260	291	77	36%	46	21%	31	12%
	50-64歳	82	139	199	117	143%	57	70%	60	43%
	65歳以上	55	49	76	21	38%	-6	-11%	27	55%
	75歳以上(再掲)	18	22	18	0	0%	4	22%	-4	-18%
男性	24-34歳	169	155	117	-52	-31%	-14	-8%	-38	-25%
	35-49歳	188	218	205	17	9%	30	16%	-13	-6%
	50-64歳	75	128	180	105	140%	53	71%	52	41%
	65歳以上	47	42	67	20	43%	-5	-11%	25	60%
	75歳以上(再掲)	15	19	14	-1	-7%	4	27%	-5	-26%
女性	24-34歳	62	86	84	22	35%	24	39%	-2	-2%
	35-49歳	26	42	86	60	231%	16	62%	44	105%
	50-64歳	7	11	19	12	171%	4	57%	8	73%
	65歳以上	8	7	9	1	13%	-1	-13%	2	29%
	75歳以上(再掲)	3	3	4	1	33%	0	0%	1	33%
病院	24-34歳	222	237	199	-23	-10%	15	7%	-38	-16%
	35-49歳	166	210	248	82	49%	44	27%	38	18%
	50-64歳	38	73	127	89	234%	35	92%	54	74%
	65歳以上	8	7	17	9	113%	-1	-13%	10	143%
	75歳以上(再掲)	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
診療所	24-34歳	9	4	2	-7	-78%	-5	-56%	-2	-50%
	35-49歳	48	50	43	-5	-10%	2	4%	-7	-14%
	50-64歳	44	66	72	28	64%	22	50%	6	9%
	65歳以上	47	42	59	12	26%	-5	-11%	17	40%
	75歳以上(再掲)	16	20	17	1	6%	4	25%	-3	-15%
	85歳以上(再掲)	3	4	6	3	100%	1	33%	2	50%

出雲医療圏

＜医師数の推移＞

出雲医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	582	338.4	69	689	396.5	74	767	446.1	73	185	32%	107.7	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	215	125.0	65	221	127.2	67	274	159.4	72	59	27%	34.4	27%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	36	20.9	72	38	21.9	73	39	22.7	67	3	8%	1.8	8%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	30	17.4	73	33	19.0	70	42	24.4	72	12	40%	7.0	40%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	62	36.0	67	45	25.9	61	39	22.7	55	-23	-37%	-13.4	-37%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	2.3	80	4	2.3	81	5	2.9	84	1	25%	0.6	25%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	4	2.3	55	8	4.6	65	12	7.0	75	8	200%	4.7	200%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	15	8.7	67	18	10.4	74	15	8.7	61	0	0%	0.0	0%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	26	15.1	54	41	23.6	68	36	20.9	58	10	38%	5.8	39%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	4	2.3	61	2	1.2	48	5	2.9	56	1	25%	0.6	25%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	25	14.5	76	23	13.2	72	27	15.7	74	2	8%	1.2	8%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	23	13.4	60	27	15.5	64	27	15.7	63	4	17%	2.3	17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	23	13.4	68	23	13.2	70	19	11.1	62	-4	-17%	-2.3	-17%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	17	9.9	75	21	12.1	82	21	12.2	76	4	24%	2.3	24%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	26	15.1	62	30	17.3	71	28	16.3	63	2	8%	1.2	8%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	1.2	56	8	4.6	76	9	5.2	71	7	350%	4.1	350%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	23	13.4	83	22	12.7	80	27	15.7	79	4	17%	2.3	17%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	23	13.4	79	29	16.7	85	42	24.4	88	19	83%	11.1	83%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				7	4.0	70	15	8.7	79	8	114%	4.7	117%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				70	40.3	84	61	35.5	74	61	-13%	-4.8	-12%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	24	14.0	71	19	10.9	61	24	14.0	62	0	0%	0.0	0%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

出雲医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は27,468人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は98人(13%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は599人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

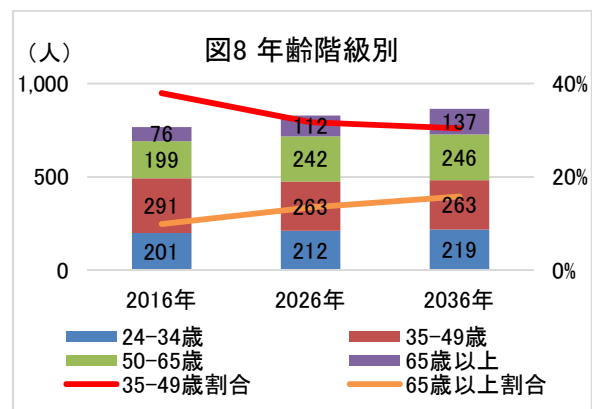
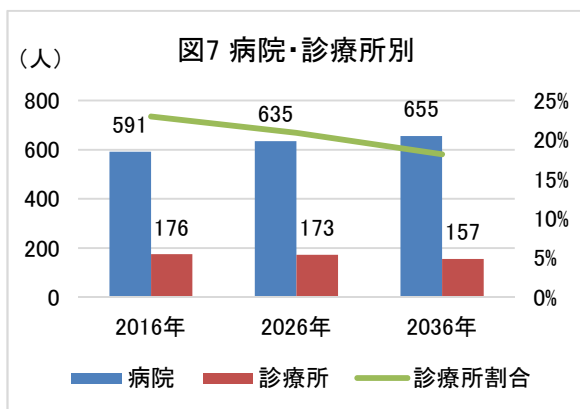
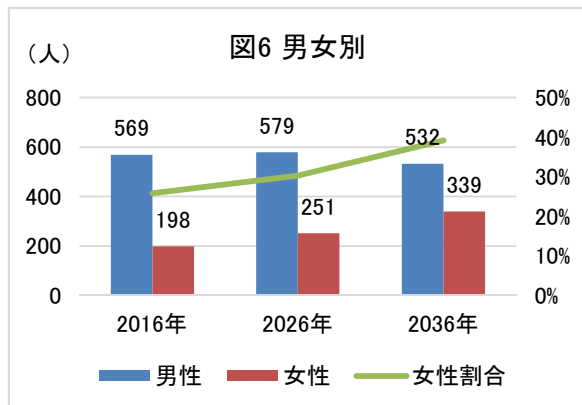
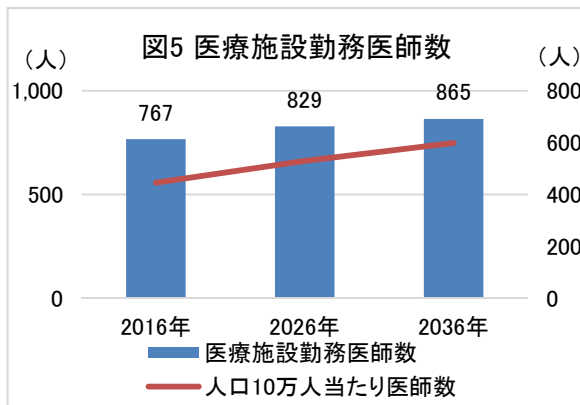
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて37人(-7%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に141人(71%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は39%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて64人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-11%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は18%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は28人(-10%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて61人(80%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年10%、2036年16%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



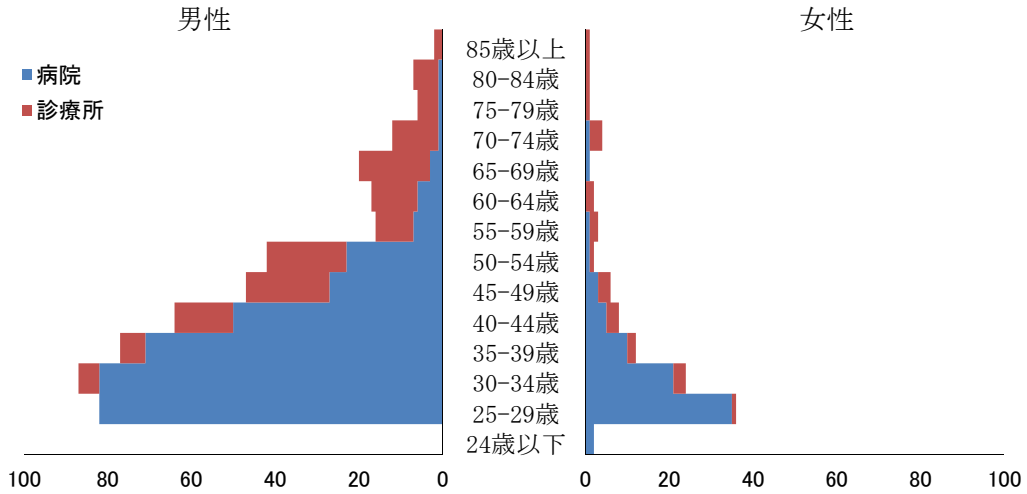
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

出雲医療圏

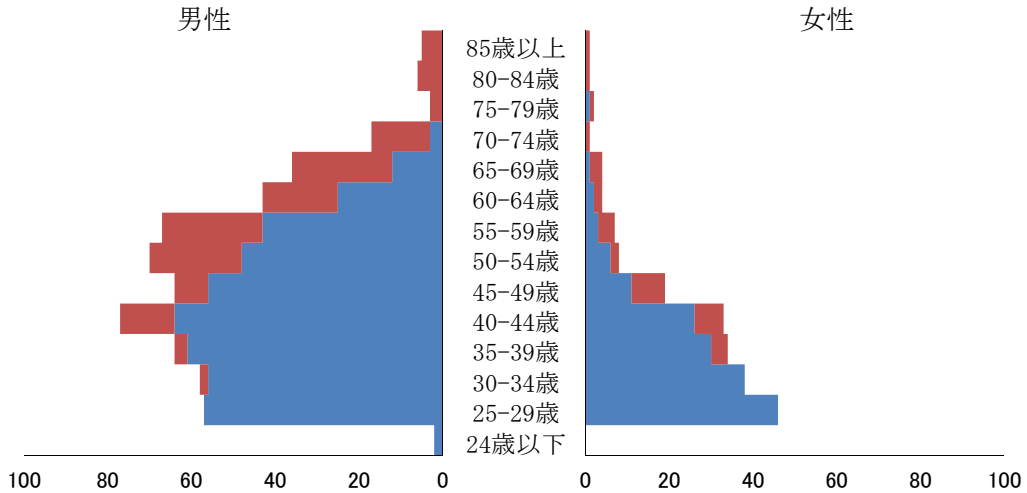
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

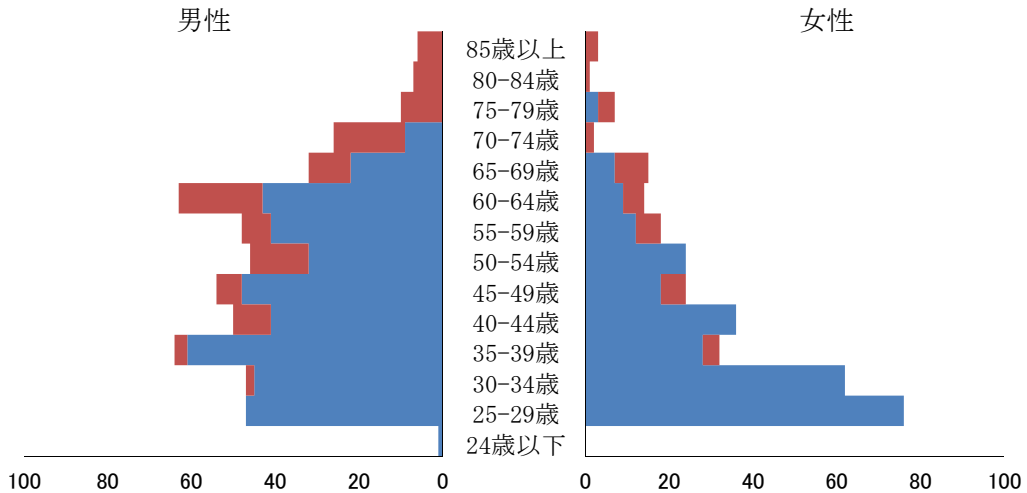
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

出雲医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	171,938	156,545	144,470	-27,468	-16%	-15,393	-9%	-12,075	-8%	
医療施設勤務医師数	767	829	865	98	13%	62	8%	36	4%	
人口10万対	446.1	529.6	598.7	152.6	34%	83.5	19%	69.2	13%	
男性医師数	569	579	532	-37	-7%	10	2%	-47	-8%	
人口10万対	330.9	369.9	368.2	37.3	11%	38.9	12%	-1.6	0%	
女性医師数	198	251	339	141	71%	53	27%	88	35%	
人口10万対	115.2	160.3	234.7	119.5	104%	45.2	39%	74.3	46%	
病院勤務医師数	591	635	655	64	11%	44	7%	20	3%	
人口10万対	343.7	405.6	453.4	109.7	32%	61.9	18%	47.7	12%	
診療所勤務医師数	176	173	157	-19	-11%	-3	-2%	-16	-9%	
人口10万対	102.4	110.5	108.7	6.3	6%	8.1	8%	-1.8	-2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	201	212	219	18	9%	11	5%	7	3%
	35-49歳	291	263	263	-28	-10%	-28	-10%	0	0%
	50-64歳	199	242	246	47	24%	43	22%	4	2%
	65歳以上	76	112	137	61	80%	36	47%	25	22%
	75歳以上(再掲)	18	29	43	25	139%	11	61%	14	48%
男性	24-34歳	117	123	95	-22	-19%	6	5%	-28	-23%
	35-49歳	205	166	167	-38	-19%	-39	-19%	1	1%
	50-64歳	180	194	163	-17	-9%	14	8%	-31	-16%
	65歳以上	67	96	107	40	60%	29	43%	11	11%
	75歳以上(再掲)	14	23	31	17	121%	9	64%	8	35%
女性	24-34歳	84	89	138	54	64%	5	6%	49	55%
	35-49歳	86	103	102	16	19%	17	20%	-1	-1%
	50-64歳	19	42	68	49	258%	23	121%	26	62%
	65歳以上	9	17	31	22	244%	8	89%	14	82%
	75歳以上(再掲)	4	6	11	7	175%	2	50%	5	83%
病院	24-34歳	199	210	216	17	9%	11	6%	6	3%
	35-49歳	248	227	228	-20	-8%	-21	-8%	1	0%
	50-64歳	127	165	170	43	34%	38	30%	5	3%
	65歳以上	17	33	41	24	141%	16	94%	8	24%
	75歳以上(再掲)	1	3	5	4	400%	2	200%	2	67%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	43	29	30	-13	-30%	-14	-33%	1	3%
	50-64歳	72	71	57	-15	-21%	-1	-1%	-14	-20%
	65歳以上	59	71	68	9	15%	12	20%	-3	-4%
	75歳以上(再掲)	17	27	30	13	76%	10	59%	3	11%
	85歳以上(再掲)	6	5	8	2	33%	-1	-17%	3	60%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大田医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は17,110人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は3人(-3%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は170人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

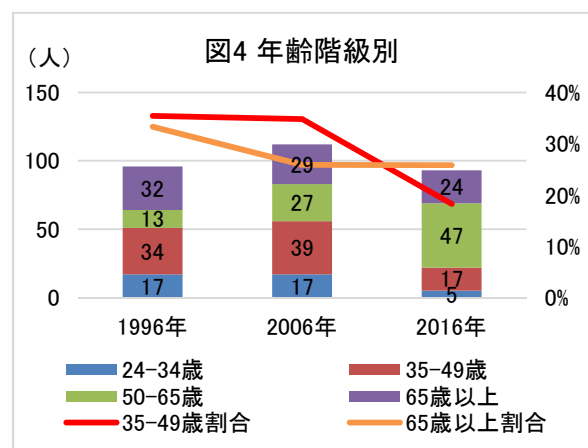
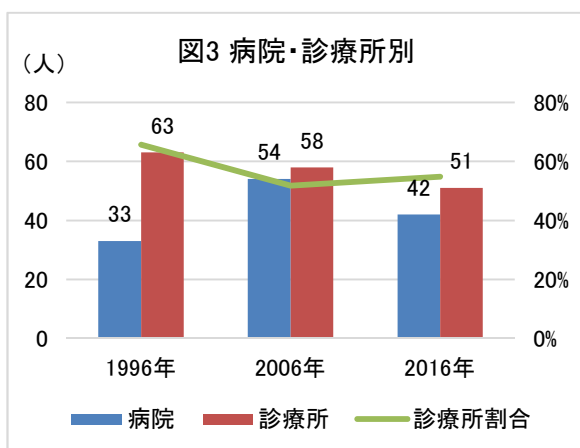
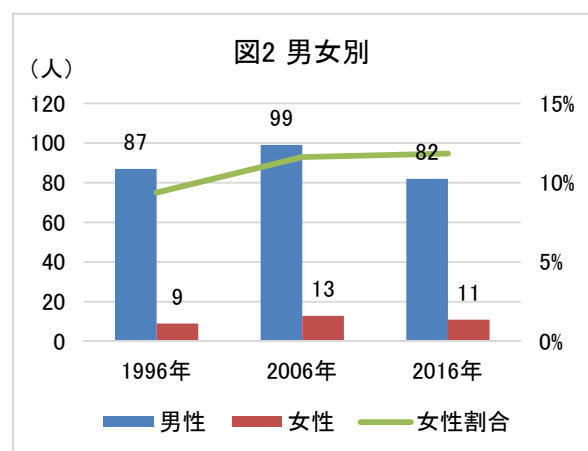
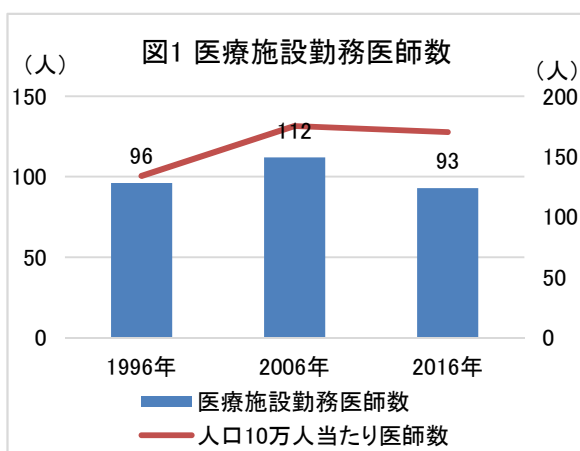
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて5人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(22%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて9人(27%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に12人(-19%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は55%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は17人(-50%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて8人(-25%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年33%、2016年26%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

大田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	71,719	63,882	54,609	-17,110	-24%	-7,837	-11%	-9,273	-15%	
総医師数	101	116	101	0	0%	15	15%	-15	-13%	
人口10万対	140.8	181.6	185.0	44.1	31%	40.8	29%	3.4	2%	
医療施設勤務医師数	96	112	93	-3	-3%	16	17%	-19	-17%	
人口10万対	133.9	175.3	170.3	36.4	27%	41.5	31%	-5.0	-3%	
男性医師数	87	99	82	-5	-6%	12	14%	-17	-17%	
人口10万対	121.3	155.0	150.2	28.9	24%	33.7	28%	-4.8	-3%	
女性医師数	9	13	11	2	22%	4	44%	-2	-15%	
人口10万対	12.5	20.4	20.1	7.6	61%	7.8	62%	-0.2	-1%	
病院勤務医師数	33	54	42	9	27%	21	64%	-12	-22%	
人口10万対	46.0	84.5	76.9	30.9	67%	38.5	84%	-7.6	-9%	
診療所勤務医師数	63	58	51	-12	-19%	-5	-8%	-7	-12%	
人口10万対	87.8	90.8	93.4	5.5	6%	2.9	3%	2.6	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	53.1	54.1	57.4	4.3	8%	1.0	2%	3.3	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	17	17	5	-12	-71%	0	0%	-12	-71%
	35-49歳	34	39	17	-17	-50%	5	15%	-22	-56%
	50-64歳	13	27	47	34	262%	14	108%	20	74%
	65歳以上	32	29	24	-8	-25%	-3	-9%	-5	-17%
	75歳以上(再掲)	10	21	6	-4	-40%	11	110%	-15	-71%
男性	24-34歳	14	13	3	-11	-79%	-1	-7%	-10	-77%
	35-49歳	31	34	13	-18	-58%	3	10%	-21	-62%
	50-64歳	12	26	43	31	258%	14	117%	17	65%
	65歳以上	30	26	23	-7	-23%	-4	-13%	-3	-12%
	75歳以上(再掲)	9	19	6	-3	-33%	10	111%	-13	-68%
女性	24-34歳	3	4	2	-1	-33%	1	33%	-2	-50%
	35-49歳	3	5	4	1	33%	2	67%	-1	-20%
	50-64歳	1	1	4	3	300%	0	0%	3	300%
	65歳以上	2	3	1	-1	-50%	1	50%	-2	-67%
	75歳以上(再掲)	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%
病院	24-34歳	16	17	5	-11	-69%	1	6%	-12	-71%
	35-49歳	12	29	13	1	8%	17	142%	-16	-55%
	50-64歳	3	3	21	18	600%	0	0%	18	600%
	65歳以上	2	5	3	1	50%	3	150%	-2	-40%
	75歳以上(再掲)	0	3	2	2		3		-1	-33%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	22	10	4	-18	-82%	-12	-55%	-6	-60%
	50-64歳	10	24	26	16	160%	14	140%	2	8%
	65歳以上	30	24	21	-9	-30%	-6	-20%	-3	-13%
	75歳以上(再掲)	10	18	4	-6	-60%	8	80%	-14	-78%
	85歳以上(再掲)	2	4	2	0	0%	2	100%	-2	-50%

大田医療圏

＜医師数の推移＞

大田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	96	133.9	44	112	175.3	46	93	170.3	42	-3	-3%	36.4	27%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	55	76.7	50	60	93.9	55	50	91.6	51	-5	-9%	14.9	19%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	9.8	47	7	11.0	49	6	11.0	46	-1	-14%	1.2	13%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	2.8	37	4	6.3	42	5	9.2	44	3	150%	6.4	228%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	9	12.5	41	10	15.7	46	4	7.3	34	-5	-56%	-5.2	-42%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	2	3.1	42	2	3.7	42	2	3.7	3.7	3.7
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	6	8.4	40	9	14.1	49	6	11.0	39	0	0%	2.6	31%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.8	42	2	3.1	41	2	3.7	40	0	0%	0.9	31%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	5.6	43	3	4.7	38	2	3.7	34	-2	-50%	-1.9	-34%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	2.8	38	2	3.1	38	1	1.8	33	-1	-50%	-1.0	-34%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.4	38	3	4.7	50	3	5.5	50	2	200%	4.1	294%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	5.6	40	4	6.3	42	5	9.2	47	1	25%	3.6	64%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	1.4	59	0	0.0	38	1	1.8	49	0	0%	0.4	31%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	2	3.1	48	2	3.7	46	2	3.7	3.7	3.7
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.4	42	4	6.3	54	3	5.5	46	2	200%	4.1	294%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.8	46	0	0.0	40	1	1.8	40	-1	-50%	-1.0	-34%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

大田医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は15,680人(-29%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は13人(-14%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は206人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

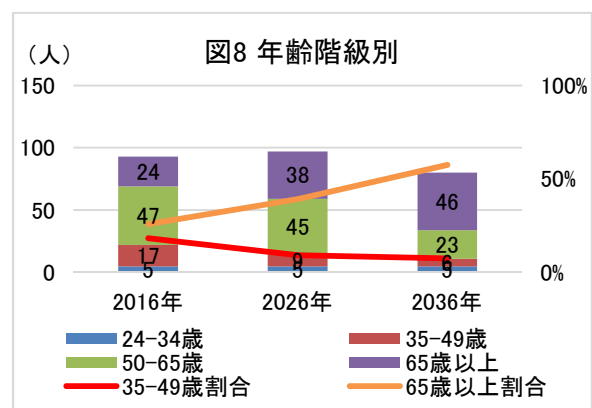
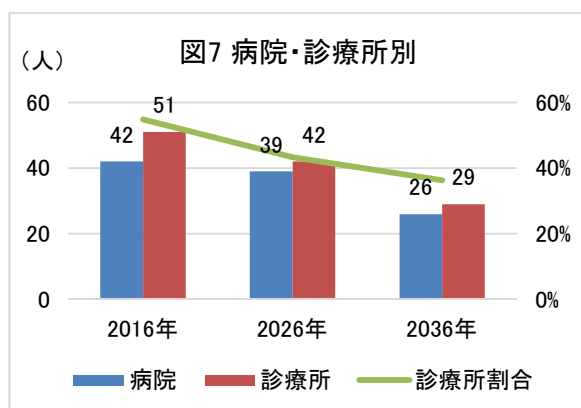
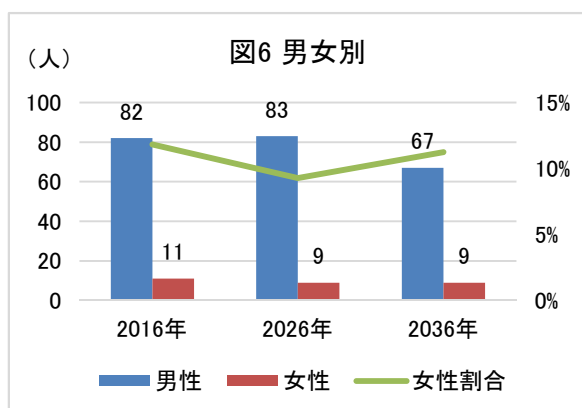
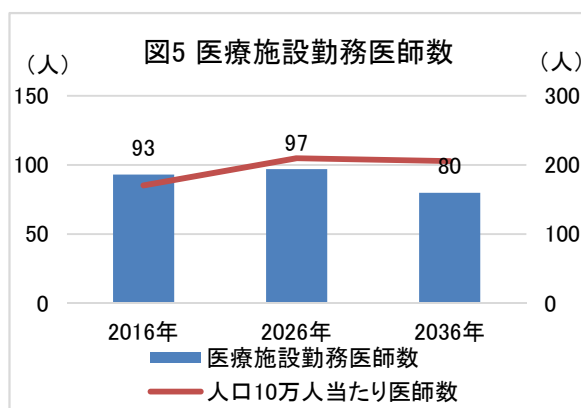
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて15人(-18%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-18%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は11%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて16人(-38%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(-43%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は11人(-65%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて22人(92%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年58%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



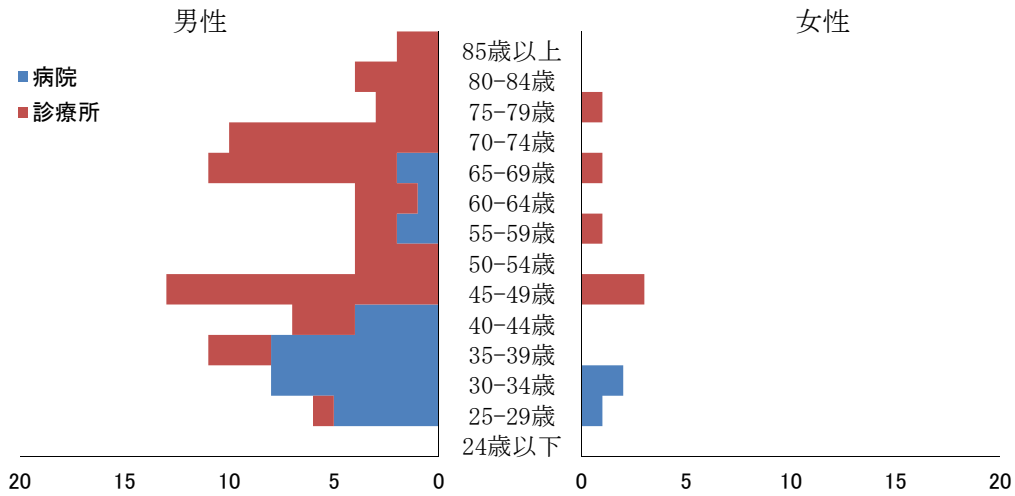
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大田医療圏

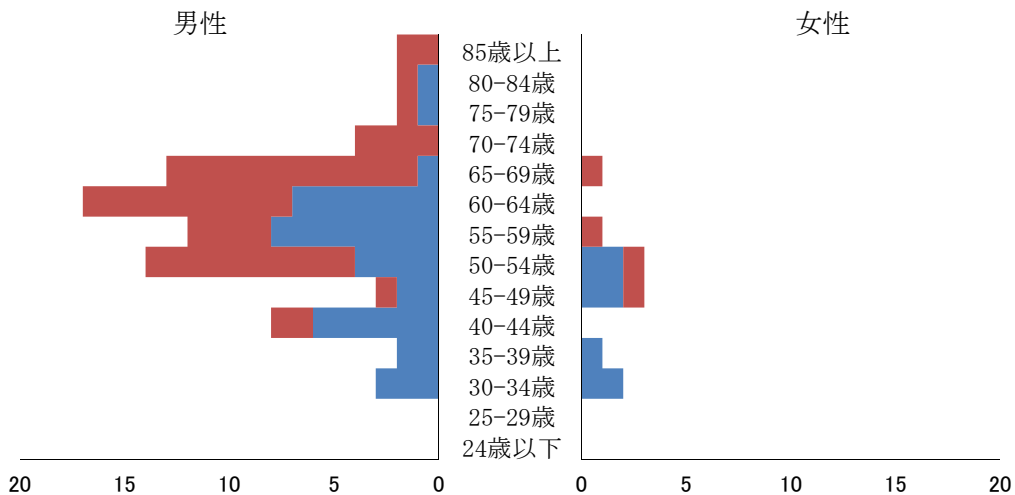
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

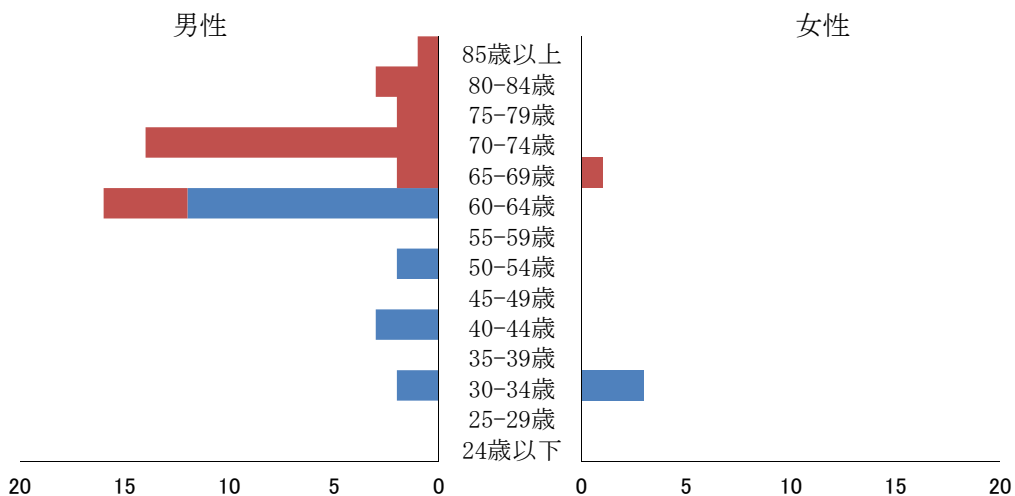
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	54,609	46,218	38,929	-15,680	-29%	-8,391	-15%	-7,289	-16%	
医療施設勤務医師数	93	97	80	-13	-14%	4	4%	-17	-18%	
人口10万対	170.3	209.9	205.5	35.2	21%	39.6	23%	-4.4	-2%	
男性医師数	82	83	67	-15	-18%	1	1%	-16	-19%	
人口10万対	150.2	179.6	172.1	21.9	15%	29.4	20%	-7.5	-4%	
女性医師数	11	9	9	-2	-18%	-2	-18%	0	0%	
人口10万対	20.1	19.5	23.1	3.0	15%	-0.7	-3%	3.6	19%	
病院勤務医師数	42	39	26	-16	-38%	-3	-7%	-13	-33%	
人口10万対	76.9	84.4	66.8	-10.1	-13%	7.5	10%	-17.6	-21%	
診療所勤務医師数	51	42	29	-22	-43%	-9	-18%	-13	-31%	
人口10万対	93.4	90.9	74.5	-18.9	-20%	-2.5	-3%	-16.4	-18%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	17	9	6	-11	-65%	-8	-47%	-3	-33%
	50-64歳	47	45	23	-24	-51%	-2	-4%	-22	-49%
	65歳以上	24	38	46	22	92%	14	58%	8	21%
	75歳以上(再掲)	6	10	15	9	150%	4	67%	5	50%
男性	24-34歳	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	35-49歳	13	5	4	-9	-69%	-8	-62%	-1	-20%
	50-64歳	43	36	20	-23	-53%	-7	-16%	-16	-44%
	65歳以上	23	39	41	18	78%	16	70%	2	5%
	75歳以上(再掲)	6	12	17	11	183%	6	100%	5	42%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	4	3	0	-4	-100%	-1	-25%	-3	-100%
	50-64歳	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
	65歳以上	1	1	3	2	200%	0	0%	2	200%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	13	6	4	-9	-69%	-7	-54%	-2	-33%
	50-64歳	21	27	17	-4	-19%	6	29%	-10	-37%
	65歳以上	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	50-64歳	26	22	4	-22	-85%	-4	-15%	-18	-82%
	65歳以上	21	20	25	4	19%	-1	-5%	5	25%
	75歳以上(再掲)	4	5	6	2	50%	1	25%	1	20%
	85歳以上(再掲)	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

浜田医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,270人(-16%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1人(-1%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は203人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は19%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

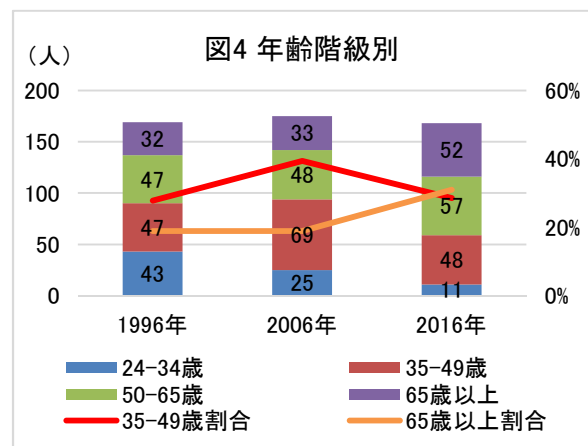
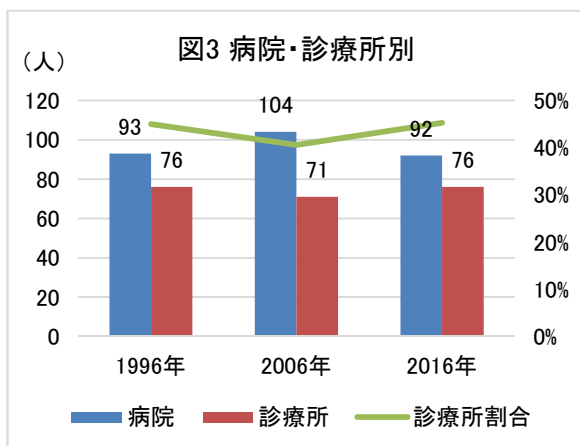
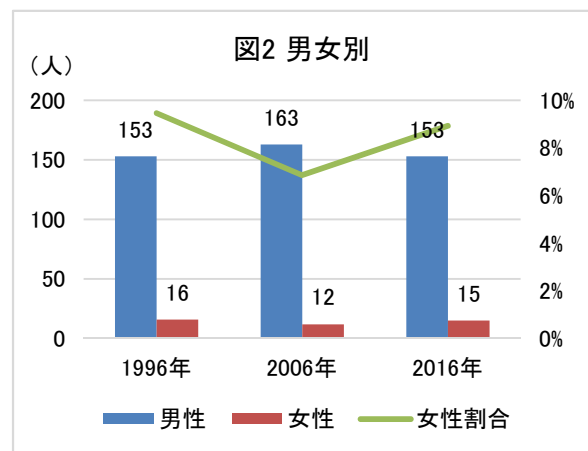
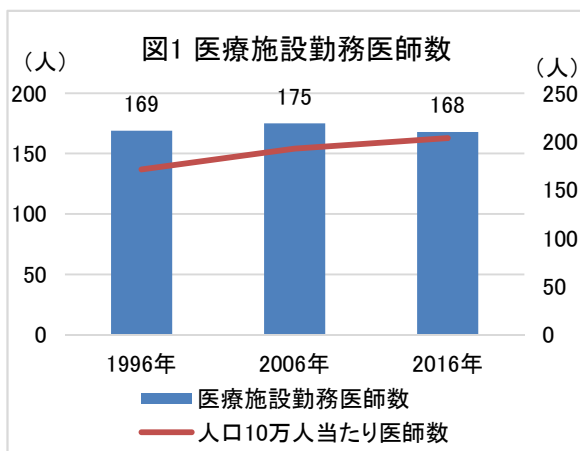
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-6%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は9%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1人(-1%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に増減がなく、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は45%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は1人(2%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて20人(63%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

浜田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	98,843	90,820	82,573	-16,270	-16%	-8,023	-8%	-8,247	-9%	
総医師数	174	178	175	1	1%	4	2%	-3	-2%	
人口10万対	176.0	196.0	211.9	35.9	20%	20.0	11%	15.9	8%	
医療施設勤務医師数	169	175	168	-1	-1%	6	4%	-7	-4%	
人口10万対	171.0	192.7	203.5	32.5	19%	21.7	13%	10.8	6%	
男性医師数	153	163	153	0	0%	10	7%	-10	-6%	
人口10万対	154.8	179.5	185.3	30.5	20%	24.7	16%	5.8	3%	
女性医師数	16	12	15	-1	-6%	-4	-25%	3	25%	
人口10万対	16.2	13.2	18.2	2.0	12%	-3.0	-18%	5.0	37%	
病院勤務医師数	93	104	92	-1	-1%	11	12%	-12	-12%	
人口10万対	94.1	114.5	111.4	17.3	18%	20.4	22%	-3.1	-3%	
診療所勤務医師数	76	71	76	0	0%	-5	-7%	5	7%	
人口10万対	76.9	78.2	92.0	15.2	20%	1.3	2%	13.9	18%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.9	50.8	56.5	6.6	13%	1.0	2%	5.6	11%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	43	25	11	-32	-74%	-18	-42%	-14	-56%
	35-49歳	47	69	48	1	2%	22	47%	-21	-30%
	50-64歳	47	48	57	10	21%	1	2%	9	19%
	65歳以上	32	33	52	20	63%	1	3%	19	58%
	75歳以上(再掲)	14	9	21	7	50%	-5	-36%	12	133%
男性	24-34歳	36	22	10	-26	-72%	-14	-39%	-12	-55%
	35-49歳	44	62	40	-4	-9%	18	41%	-22	-35%
	50-64歳	45	47	54	9	20%	2	4%	7	15%
	65歳以上	28	32	49	21	75%	4	14%	17	53%
	75歳以上(再掲)	12	8	21	9	75%	-4	-33%	13	163%
女性	24-34歳	7	3	1	-6	-86%	-4	-57%	-2	-67%
	35-49歳	3	7	8	5	167%	4	133%	1	14%
	50-64歳	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%
	65歳以上	4	1	3	-1	-25%	-3	-75%	2	200%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	43	25	11	-32	-74%	-18	-42%	-14	-56%
	35-49歳	29	46	30	1	3%	17	59%	-16	-35%
	50-64歳	18	26	31	13	72%	8	44%	5	19%
	65歳以上	3	7	20	17	567%	4	133%	13	186%
	75歳以上(再掲)	0	0	9	9		0		9	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	18	23	18	0	0%	5	28%	-5	-22%
	50-64歳	29	22	26	-3	-10%	-7	-24%	4	18%
	65歳以上	29	26	32	3	10%	-3	-10%	6	23%
	75歳以上(再掲)	14	9	12	-2	-14%	-5	-36%	3	33%
	85歳以上(再掲)	4	0	1	-3	-75%	-4	-100%	1	

浜田医療圏

＜医師数の推移＞

浜田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、整形外科であり、少ない診療科は、小児外科、形成外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	169	171.0	48	175	192.7	48	168	203.5	46	-1	-1%	32.5	19%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	77	77.9	51	76	83.7	52	73	88.4	50	-4	-5%	10.5	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	10.1	48	11	12.1	51	10	12.1	48	0	0%	2.0	20%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	7.1	48	9	9.9	50	13	15.7	56	6	86%	8.7	122%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	21	21.2	51	19	20.9	54	13	15.7	46	-8	-38%	-5.5	-26%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	3	3.3	57	2	2.4	50	2	2	2.4	2.4
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	4.0	48	3	3.3	43	5	6.1	51	1	25%	2.0	50%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	13	13.2	50	20	22.0	65	17	20.6	57	4	31%	7.4	57%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	4.0	46	2	2.2	38	5	6.1	47	1	25%	2.0	50%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	9.1	51	7	7.7	45	8	9.7	48	-1	-11%	0.6	6%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	6.1	47	4	4.4	42	3	3.6	38	-3	-50%	-2.4	-40%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	4.0	50	4	4.4	48	3	3.6	42	-1	-25%	-0.4	-10%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	8	8.1	46	6	6.6	43	6	7.3	43	-2	-25%	-0.8	-10%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	2	2.2	56	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	3.0	49	5	5.5	56	1	1.2	39	-2	-67%	-1.8	-60%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.0	44	2	2.2	42	4	4.8	45	2	100%	2.8	139%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	1.1	38	0	0.0	36	0	-100%	-1.1	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.0	42	1	1.1	42	5	6.1	48	4	400%	5.0	499%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

浜田医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は20,807人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は21人(-13%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は238人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

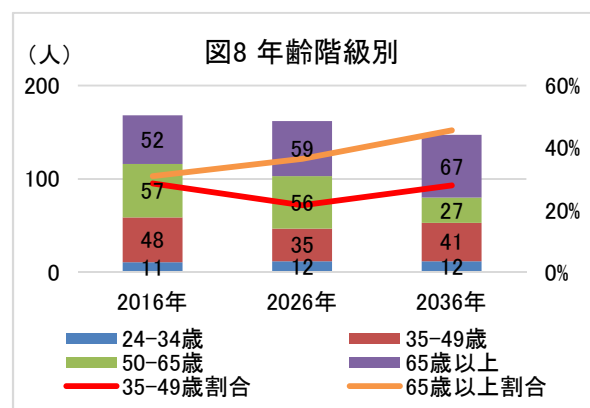
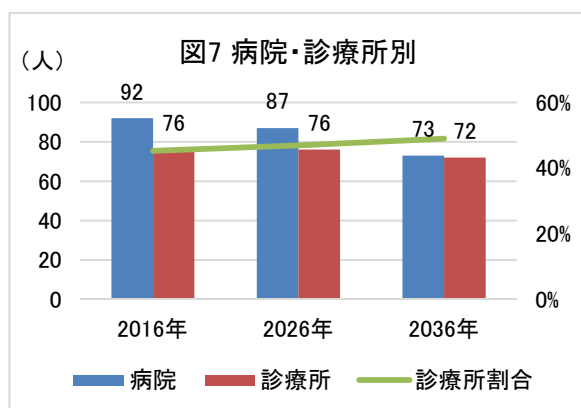
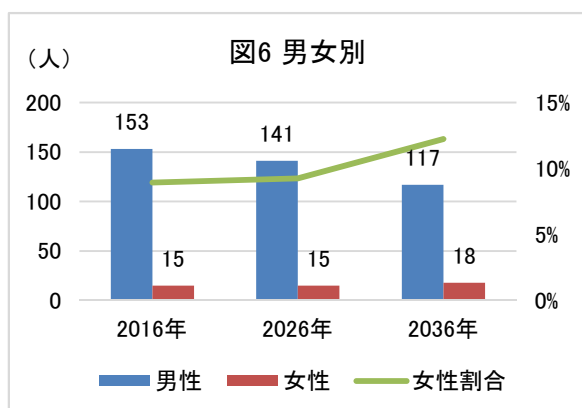
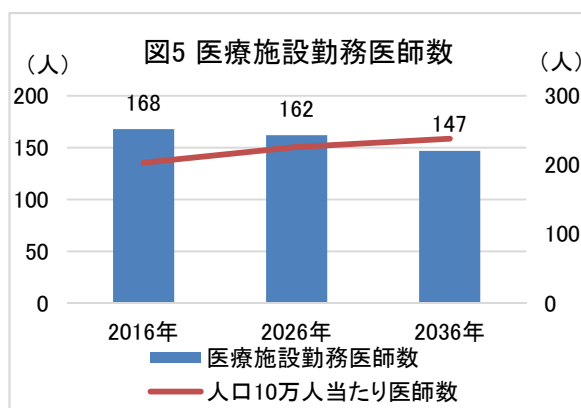
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて36人(-24%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(20%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は12%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて19人(-21%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(-5%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は49%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は7人(-15%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて15人(29%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年31%、2036年46%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



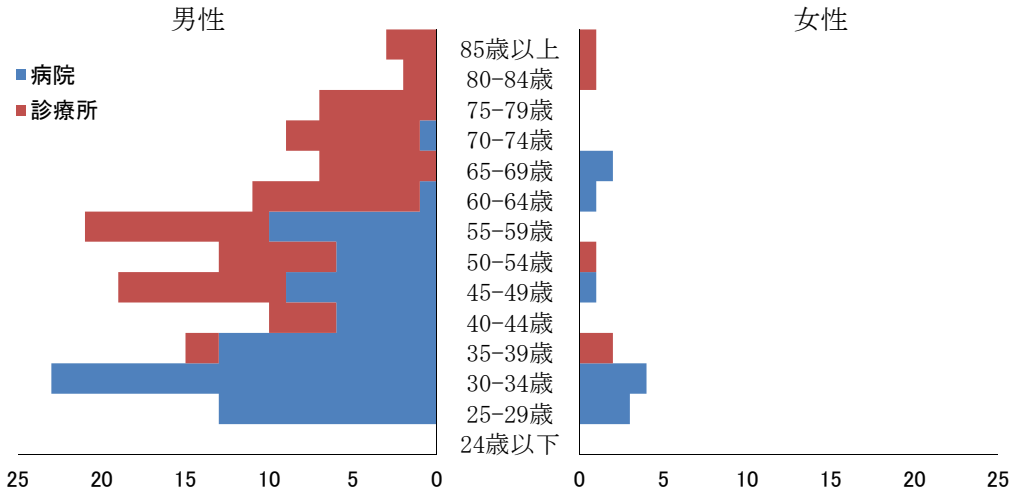
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

浜田医療圏

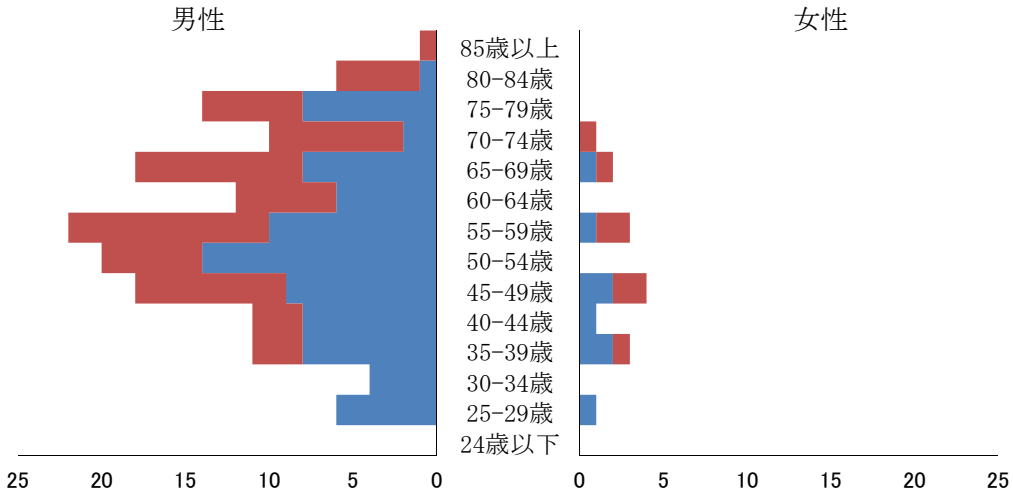
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

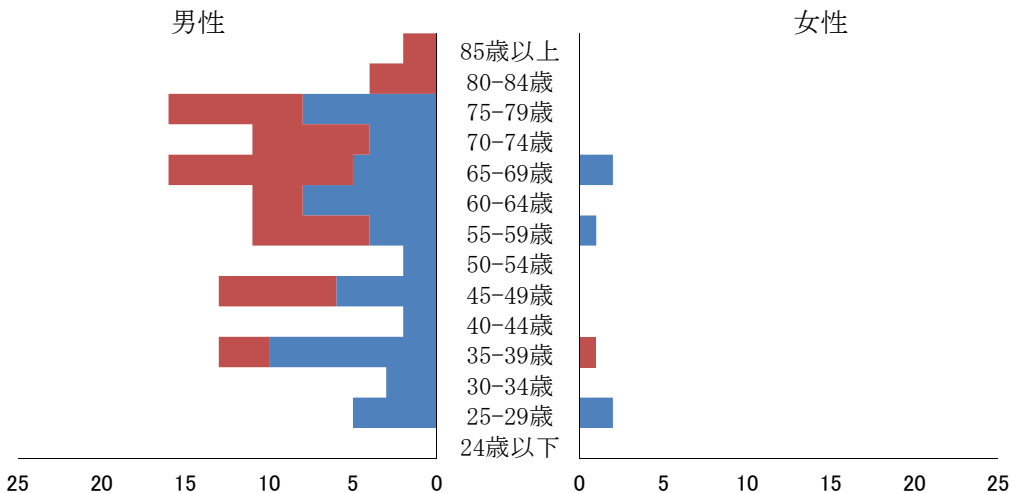
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

浜田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	82,573	71,685	61,766	-20,807	-25%	-10,888	-13%	-9,919	-14%	
医療施設勤務医師数	168	162	147	-21	-13%	-6	-4%	-15	-9%	
人口10万対	203.5	226.0	238.0	34.5	17%	22.5	11%	12.0	5%	
男性医師数	153	141	117	-36	-24%	-12	-8%	-24	-17%	
人口10万対	185.3	196.7	189.4	4.1	2%	11.4	6%	-7.3	-4%	
女性医師数	15	15	18	3	20%	0	0%	3	20%	
人口10万対	18.2	20.9	29.1	11.0	60%	2.8	15%	8.2	39%	
病院勤務医師数	92	87	73	-19	-21%	-5	-5%	-14	-16%	
人口10万対	111.4	121.4	118.2	6.8	6%	9.9	9%	-3.2	-3%	
診療所勤務医師数	76	76	72	-4	-5%	0	0%	-4	-5%	
人口10万対	92.0	106.0	116.6	24.5	27%	14.0	15%	10.5	10%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	11	12	12	1	9%	1	9%	0	0%
	35-49歳	48	35	41	-7	-15%	-13	-27%	6	17%
	50-64歳	57	56	27	-30	-53%	-1	-2%	-29	-52%
	65歳以上	52	59	67	15	29%	7	13%	8	14%
	75歳以上(再掲)	21	27	30	9	43%	6	29%	3	11%
男性	24-34歳	10	11	8	-2	-20%	1	10%	-3	-27%
	35-49歳	40	26	30	-10	-25%	-14	-35%	4	15%
	50-64歳	54	50	23	-31	-57%	-4	-7%	-27	-54%
	65歳以上	49	54	56	7	14%	5	10%	2	4%
	75歳以上(再掲)	21	27	26	5	24%	6	29%	-1	-4%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	8	2	0	-8	-100%	-6	-75%	-2	-100%
	50-64歳	3	6	4	1	33%	3	100%	-2	-33%
	65歳以上	3	6	12	9	300%	3	100%	6	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	11	12	12	1	9%	1	9%	0	0%
	35-49歳	30	22	25	-5	-17%	-8	-27%	3	14%
	50-64歳	31	33	16	-15	-48%	2	6%	-17	-52%
	65歳以上	20	20	20	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	9	10	9	0	0%	1	11%	-1	-10%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	18	15	15	-3	-17%	-3	-17%	0	0%
	50-64歳	26	23	16	-10	-38%	-3	-12%	-7	-30%
	65歳以上	32	38	41	9	28%	6	19%	3	8%
	75歳以上(再掲)	12	14	17	5	42%	2	17%	3	21%
	85歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

益田医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は14,840人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は20人(-13%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は215人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は8%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

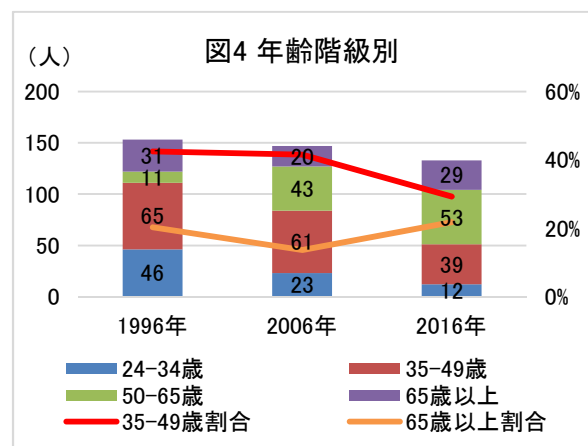
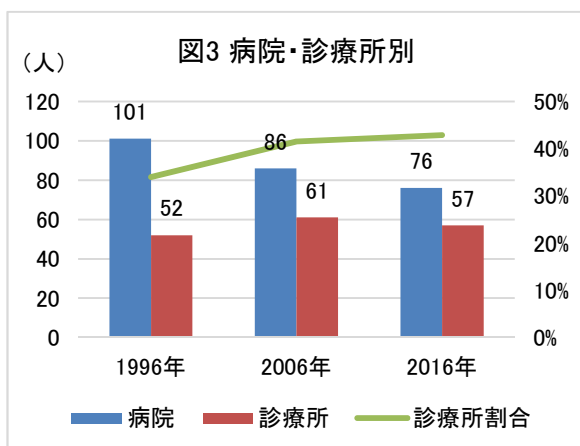
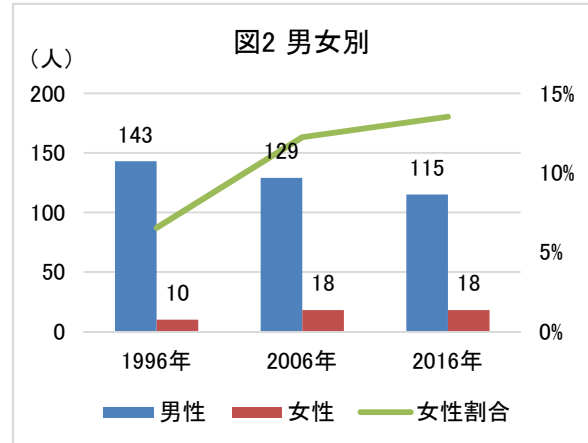
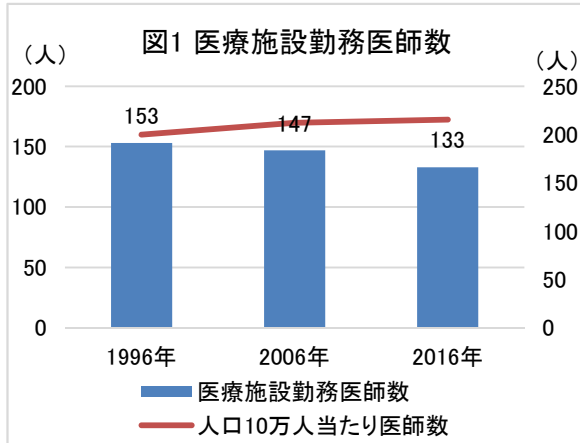
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて28人(-20%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(80%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて25人(-25%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は43%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は26人(-40%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

益田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	76,585	69,245	61,745	-14,840	-19%	-7,340	-10%	-7,500	-11%	
総医師数	155	151	139	-16	-10%	-4	-3%	-12	-8%	
人口10万対	202.4	218.1	225.1	22.7	11%	15.7	8%	7.1	3%	
医療施設勤務医師数	153	147	133	-20	-13%	-6	-4%	-14	-10%	
人口10万対	199.8	212.3	215.4	15.6	8%	12.5	6%	3.1	1%	
男性医師数	143	129	115	-28	-20%	-14	-10%	-14	-11%	
人口10万対	186.7	186.3	186.2	-0.5	0%	-0.4	0%	-0.0	0%	
女性医師数	10	18	18	8	80%	8	80%	0	0%	
人口10万対	13.1	26.0	29.2	16.1	123%	12.9	99%	3.2	12%	
病院勤務医師数	101	86	76	-25	-25%	-15	-15%	-10	-12%	
人口10万対	131.9	124.2	123.1	-8.8	-7%	-7.7	-6%	-1.1	-1%	
診療所勤務医師数	52	61	57	5	10%	9	17%	-4	-7%	
人口10万対	67.9	88.1	92.3	24.4	36%	20.2	30%	4.2	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.7	48.9	54.0	8.3	18%	3.1	7%	5.2	11%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	46	23	12	-34	-74%	-23	-50%	-11	-48%
	35-49歳	65	61	39	-26	-40%	-4	-6%	-22	-36%
	50-64歳	11	43	53	42	382%	32	291%	10	23%
	65歳以上	31	20	29	-2	-6%	-11	-35%	9	45%
	75歳以上(再掲)	9	13	8	-1	-11%	4	44%	-5	-38%
男性	24-34歳	41	19	8	-33	-80%	-22	-54%	-11	-58%
	35-49歳	62	51	30	-32	-52%	-11	-18%	-21	-41%
	50-64歳	11	40	49	38	345%	29	264%	9	23%
	65歳以上	29	19	28	-1	-3%	-10	-34%	9	47%
	75歳以上(再掲)	8	13	8	0	0%	5	63%	-5	-38%
女性	24-34歳	5	4	4	-1	-20%	-1	-20%	0	0%
	35-49歳	3	10	9	6	200%	7	233%	-1	-10%
	50-64歳	0	3	4	4		3		1	33%
	65歳以上	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	45	23	12	-33	-73%	-22	-49%	-11	-48%
	35-49歳	45	43	30	-15	-33%	-2	-4%	-13	-30%
	50-64歳	6	16	27	21	350%	10	167%	11	69%
	65歳以上	5	4	7	2	40%	-1	-20%	3	75%
	75歳以上(再掲)	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	20	18	9	-11	-55%	-2	-10%	-9	-50%
	50-64歳	5	27	26	21	420%	22	440%	-1	-4%
	65歳以上	26	16	22	-4	-15%	-10	-38%	6	38%
	75歳以上(再掲)	6	12	6	0	0%	6	100%	-6	-50%
	85歳以上(再掲)	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%

益田医療圏

＜医師数の推移＞

益田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、泌尿器科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	153	199.8	52	147	212.3	51	133	215.4	47	-20	-13%	15.6	8%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	70	91.4	55	62	89.5	54	67	108.5	56	-3	-4%	17.1	19%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	7.8	43	9	13.0	53	6	9.7	43	0	0%	1.9	24%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	6.5	46	6	8.7	48	8	13.0	51	3	60%	6.4	98%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	16	20.9	50	12	17.3	49	8	13.0	42	-8	-50%	-7.9	-38%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	10.4	74	6	8.7	66	2	3.2	40	-6	-75%	-7.2	-69%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	14	18.3	61	14	20.2	61	11	17.8	52	-3	-21%	-0.5	-3%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	1.4	50	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	3.9	46	3	4.3	44	2	3.2	39	-1	-33%	-0.7	-17%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	6.5	45	5	7.2	44	5	8.1	45	0	0%	1.6	24%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	6.5	49	5	7.2	51	4	6.5	47	-1	-20%	-0.1	-1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	3.9	49	5	7.2	61	5	8.1	60	2	67%	4.2	107%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	10	13.1	57	7	10.1	52	5	8.1	45	-5	-50%	-5.0	-38%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	4	5.8	86	3	4.9	69	3	0%	4.9	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	5.2	56	4	5.8	57	4	6.5	54	0	0%	1.3	24%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.6	46	2	2.9	44	0	0.0	34	-2	-100%	-2.6	-100%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	1	1.6	38	1	0%	1.6	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.6	46	2	2.9	46	2	3.2	43	0	0%	0.6	24%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

益田医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は16,647人(-27%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は2人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は290人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は35%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

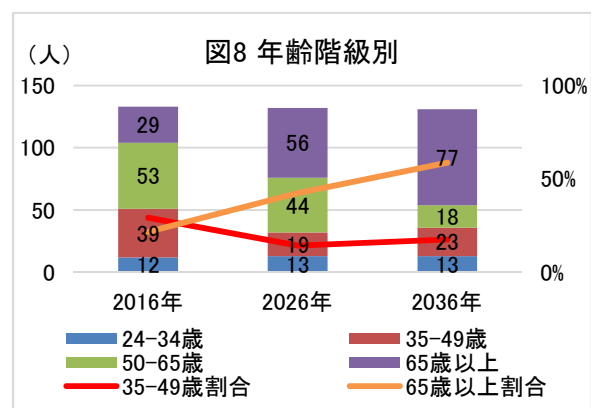
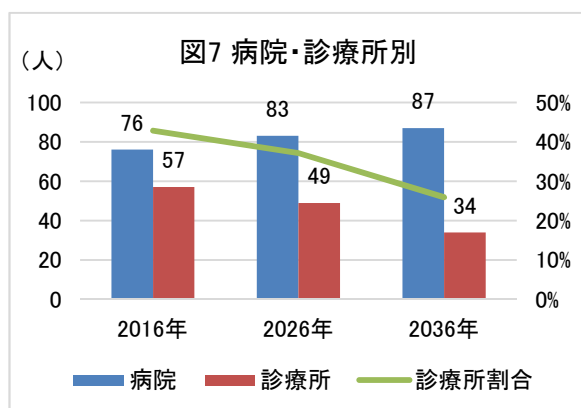
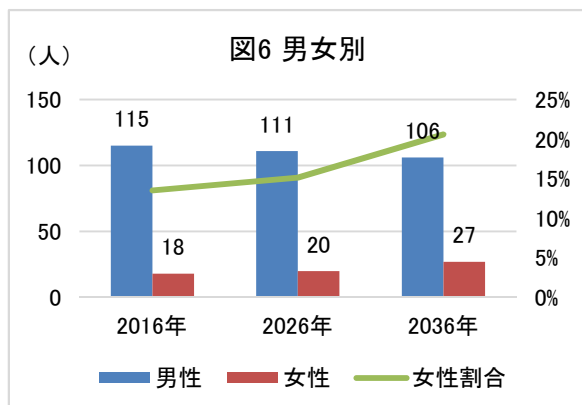
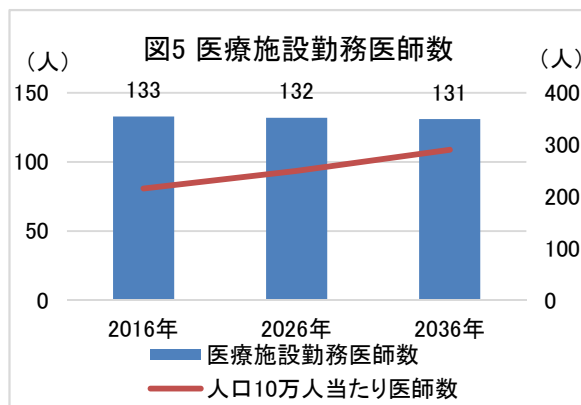
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて9人(-8%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(50%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は21%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて11人(14%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に23人(-40%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は16人(-41%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて48人(166%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年59%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



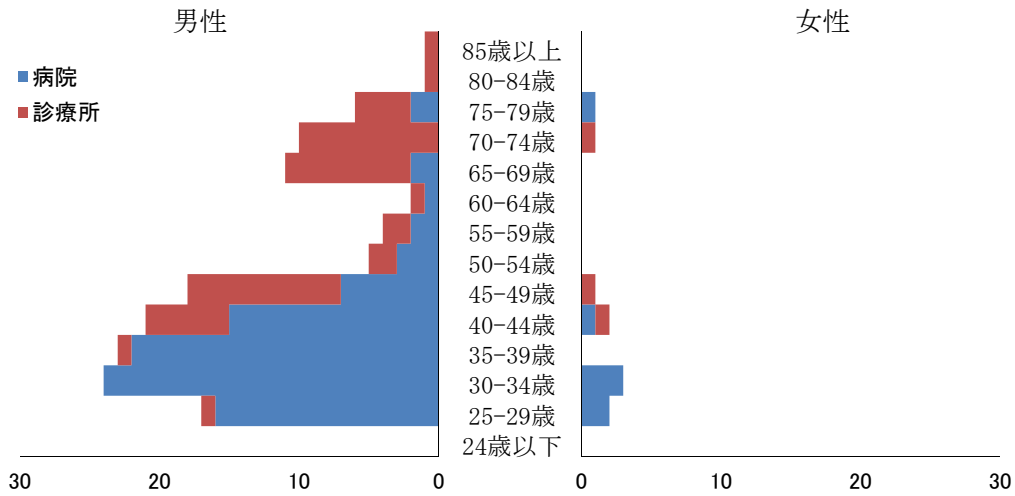
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

益田医療圏

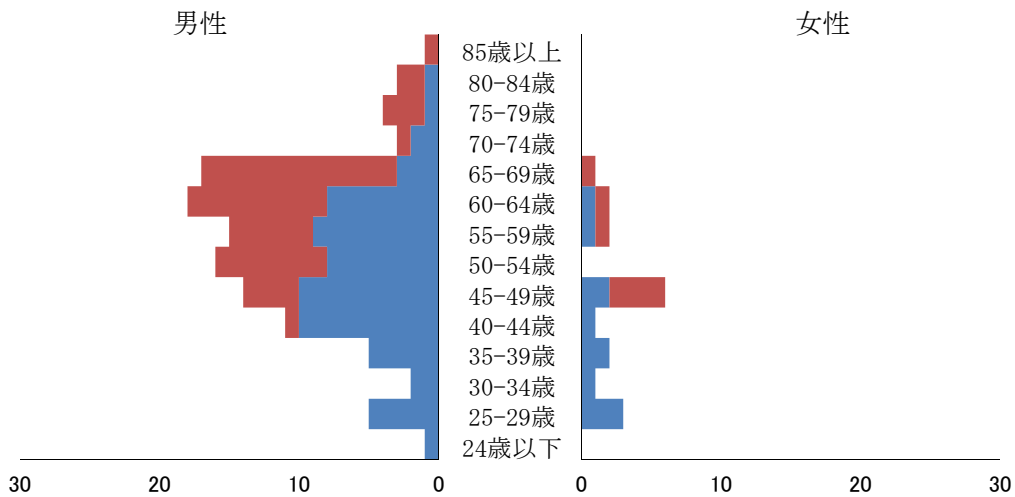
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

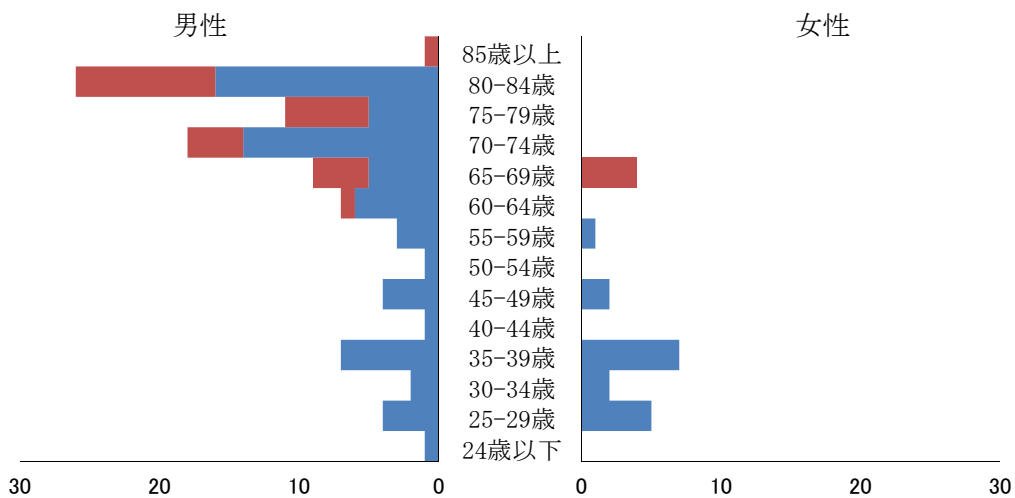
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

益田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	61,745	52,924	45,098	-16,647	-27%	-8,821	-14%	-7,826	-15%	
医療施設勤務医師数	133	132	131	-2	-2%	-1	-1%	-1	-1%	
人口10万対	215.4	249.4	290.5	75.1	35%	34.0	16%	41.1	16%	
男性医師数	115	111	106	-9	-8%	-4	-3%	-5	-5%	
人口10万対	186.2	209.7	235.0	48.8	26%	23.5	13%	25.3	12%	
女性医師数	18	20	27	9	50%	2	11%	7	35%	
人口10万対	29.2	37.8	59.9	30.7	105%	8.6	30%	22.1	58%	
病院勤務医師数	76	83	87	11	14%	7	9%	4	5%	
人口10万対	123.1	156.8	192.9	69.8	57%	33.7	27%	36.1	23%	
診療所勤務医師数	57	49	34	-23	-40%	-8	-14%	-15	-31%	
人口10万対	92.3	92.6	75.4	-16.9	-18%	0.3	0%	-17.2	-19%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%
	35-49歳	39	19	23	-16	-41%	-20	-51%	4	21%
	50-64歳	53	44	18	-35	-66%	-9	-17%	-26	-59%
	65歳以上	29	56	77	48	166%	27	93%	21	38%
	75歳以上(再掲)	8	20	45	37	463%	12	150%	25	125%
男性	24-34歳	8	8	7	-1	-13%	0	0%	-1	-13%
	35-49歳	30	11	14	-16	-53%	-19	-63%	3	27%
	50-64歳	49	37	15	-34	-69%	-12	-24%	-22	-59%
	65歳以上	28	55	70	42	150%	27	96%	15	27%
	75歳以上(再掲)	8	23	43	35	438%	15	188%	20	87%
女性	24-34歳	4	4	7	3	75%	0	0%	3	75%
	35-49歳	9	8	12	3	33%	-1	-11%	4	50%
	50-64歳	4	6	2	-2	-50%	2	50%	-4	-67%
	65歳以上	1	2	6	5	500%	1	100%	4	200%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%
	35-49歳	30	17	21	-9	-30%	-13	-43%	4	24%
	50-64歳	27	25	12	-15	-56%	-2	-7%	-13	-52%
	65歳以上	7	28	41	34	486%	21	300%	13	46%
	75歳以上(再掲)	2	4	21	19	950%	2	100%	17	425%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	9	0	0	-9	-100%	-9	-100%	0	
	50-64歳	26	17	1	-25	-96%	-9	-35%	-16	-94%
	65歳以上	22	32	33	11	50%	10	45%	1	3%
	75歳以上(再掲)	6	18	20	14	233%	12	200%	2	11%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

隠岐医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,471人(-21%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-19%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は141人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は2%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

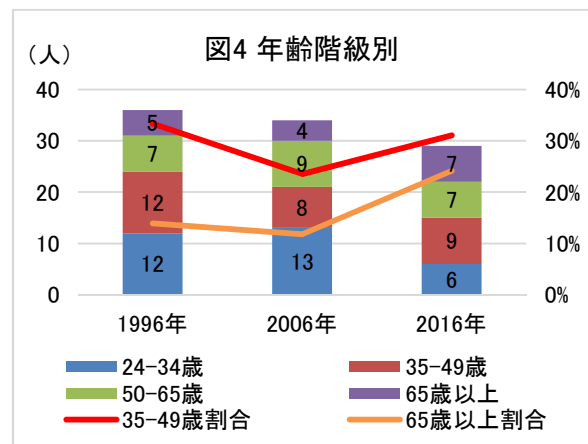
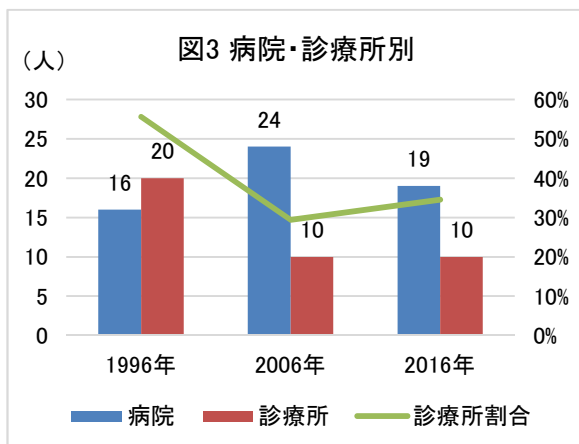
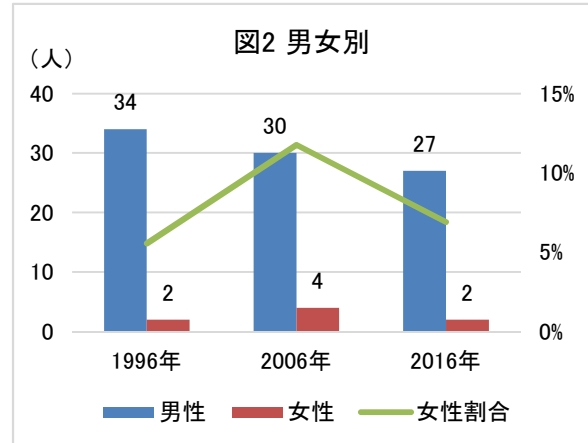
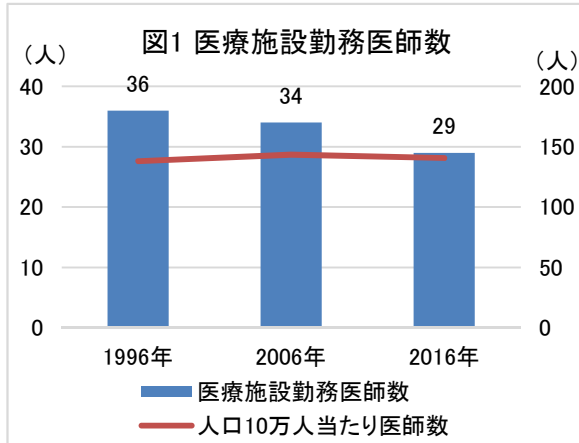
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて7人(-21%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて3人(19%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(-50%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は3人(-25%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(40%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

隠岐医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	26,074	23,696	20,603	-5,471	-21%	-2,378	-9%	-3,093	-13%	
総医師数	40	38	32	-8	-20%	-2	-5%	-6	-16%	
人口10万対	153.4	160.4	155.3	1.9	1%	7.0	5%	-5.0	-3%	
医療施設勤務医師数	36	34	29	-7	-19%	-2	-6%	-5	-15%	
人口10万対	138.1	143.5	140.8	2.7	2%	5.4	4%	-2.7	-2%	
男性医師数	34	30	27	-7	-21%	-4	-12%	-3	-10%	
人口10万対	130.4	126.6	131.0	0.7	0%	-3.8	-3%	4.4	4%	
女性医師数	2	4	2	0	0%	2	100%	-2	-50%	
人口10万対	7.7	16.9	9.7	2.0	27%	9.2	120%	-7.2	-42%	
病院勤務医師数	16	24	19	3	19%	8	50%	-5	-21%	
人口10万対	61.4	101.3	92.2	30.9	50%	39.9	65%	-9.1	-9%	
診療所勤務医師数	20	10	10	-10	-50%	-10	-50%	0	0%	
人口10万対	76.7	42.2	48.5	-28.2	-37%	-34.5	-45%	6.3	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.2	45.7	50.0	3.7	8%	-0.6	-1%	4.3	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	12	13	6	-6	-50%	1	8%	-7	-54%
	35-49歳	12	8	9	-3	-25%	-4	-33%	1	13%
	50-64歳	7	9	7	0	0%	2	29%	-2	-22%
	65歳以上	5	4	7	2	40%	-1	-20%	3	75%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
男性	24-34歳	11	11	6	-5	-45%	0	0%	-5	-45%
	35-49歳	12	7	7	-5	-42%	-5	-42%	0	0%
	50-64歳	7	9	7	0	0%	2	29%	-2	-22%
	65歳以上	4	3	7	3	75%	-1	-25%	4	133%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
女性	24-34歳	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%
	35-49歳	0	1	2	2		1		1	100%
	50-64歳	0	0	0	0		0		0	
	65歳以上	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	10	11	5	-5	-50%	1	10%	-6	-55%
	35-49歳	5	7	8	3	60%	2	40%	1	14%
	50-64歳	1	4	3	2	200%	3	300%	-1	-25%
	65歳以上	0	2	3	3		2		1	50%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
	35-49歳	7	1	1	-6	-86%	-6	-86%	0	0%
	50-64歳	6	5	4	-2	-33%	-1	-17%	-1	-20%
	65歳以上	5	2	4	-1	-20%	-3	-60%	2	100%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	85歳以上(再掲)	0	1	0	0		1		-1	-100%

隠岐医療圏

<医師数の推移>

隠岐医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、耳鼻咽喉科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科はない。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	36	138.1	44	34	143.5	42	29	140.8	39	-7	-19%	2.7	2%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	20	76.7	50	20	84.4	52	19	92.2	51	-1	-5%	15.5	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	2	7.7	43	3	12.7	53	2	9.7	43	0	0%	2.0	27%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	7.7	49	2	8.4	47	1	4.9	36	-1	-50%	-2.8	-37%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	6	23.0	52	2	8.4	36	1	4.9	31	-5	-83%	-18.2	-79%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	0	0.0	29	0	0.0	28	0	0%	0.0	0%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	2	7.7	39	2	8.4	37	2	9.7	37	0	0%	2.0	27%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	0	0.0	31	0	0.0	30	0	0%	0.0	0%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	0	0.0	31	1	4.2	37	1	4.9	37	1	4%	4.9	4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	3.8	41	1	4.2	41	0	0.0	27	-1	-100%	-3.8	-100%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	3.8	49	1	4.2	47	0	0.0	28	-1	-100%	-3.8	-100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	2	7.7	45	2	8.4	48	2	9.7	49	0	0%	2.0	27%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	1	4.9	45	1	4%	4.9	4%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

隠岐医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は6,644人(-32%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は8人(-28%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は150人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は7%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

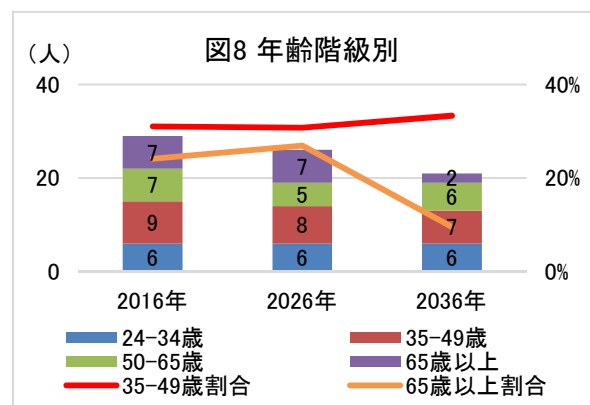
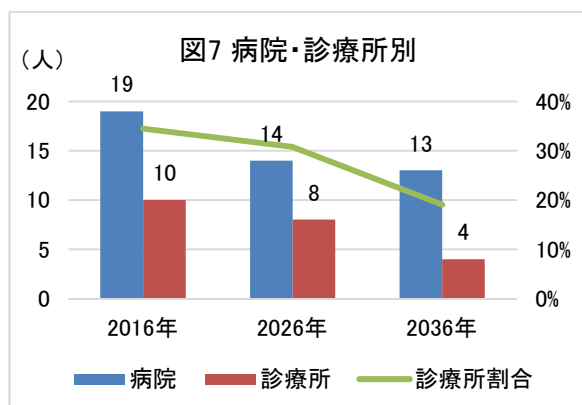
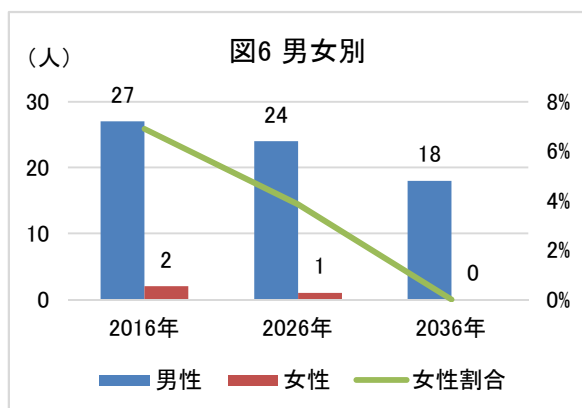
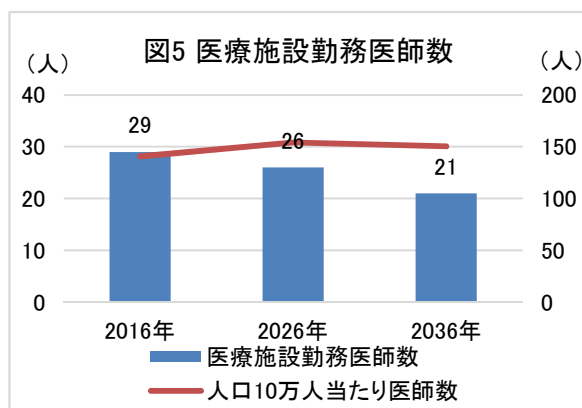
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて9人(-33%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-100%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は0%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて6人(-32%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に6人(-60%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は2人(-22%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて5人(-71%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年10%と減少傾向と推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



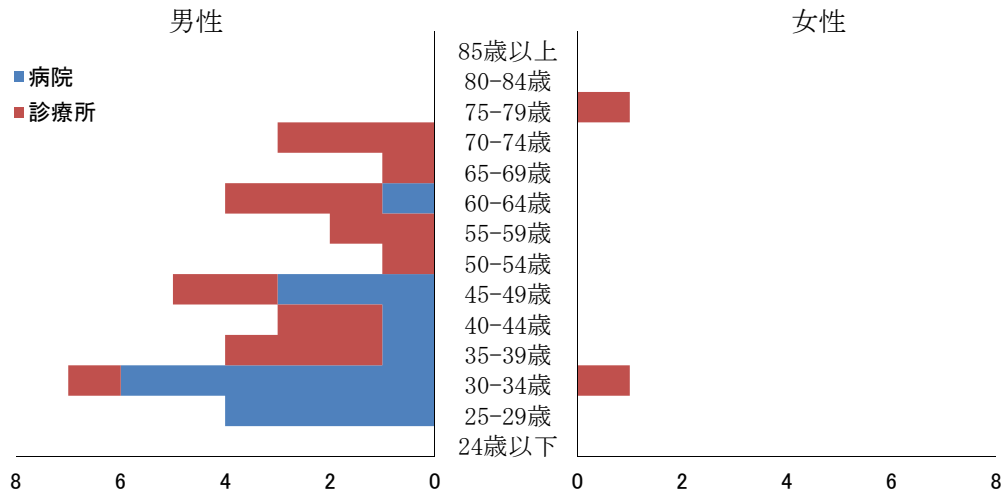
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

隠岐医療圏

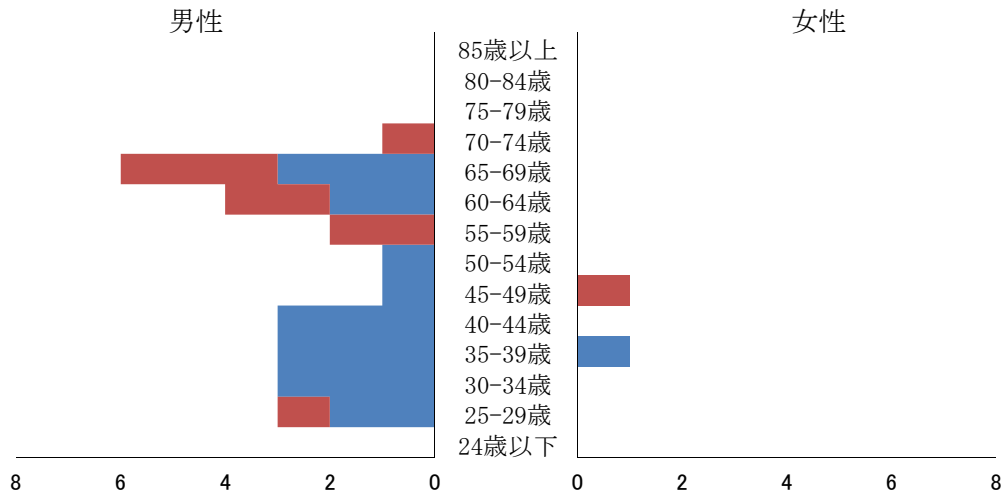
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

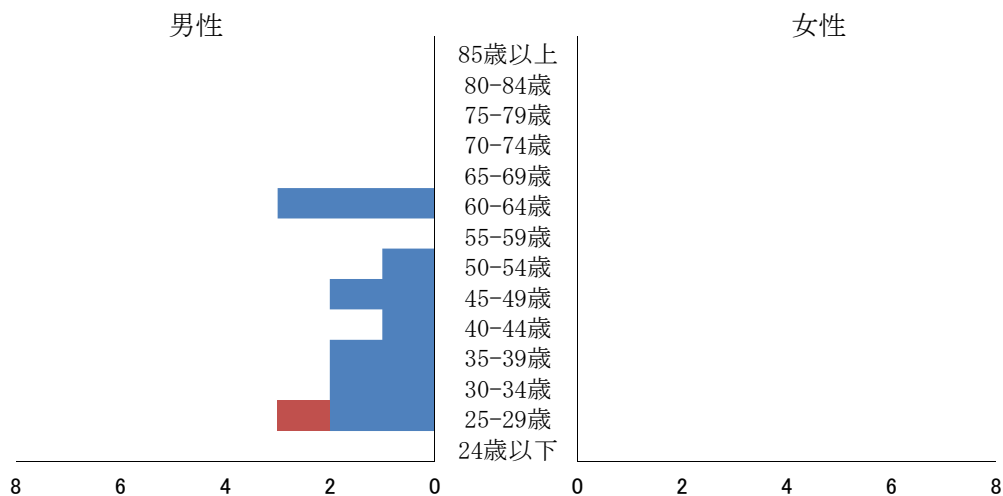
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

隠岐医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	20,603	16,868	13,959	-6,644	-32%	-3,735	-18%	-2,909	-17%	
医療施設勤務医師数	29	26	21	-8	-28%	-3	-10%	-5	-19%	
人口10万対	140.8	154.1	150.4	9.7	7%	13.4	10%	-3.7	-2%	
男性医師数	27	24	18	-9	-33%	-3	-11%	-6	-25%	
人口10万対	131.0	142.3	128.9	-2.1	-2%	11.2	9%	-13.3	-9%	
女性医師数	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%	
人口10万対	9.7	5.9	0.0	-9.7	-100%	-3.8	-39%	-5.9	-100%	
病院勤務医師数	19	14	13	-6	-32%	-5	-26%	-1	-7%	
人口10万対	92.2	83.0	93.1	0.9	1%	-9.2	-10%	10.1	12%	
診療所勤務医師数	10	8	4	-6	-60%	-2	-20%	-4	-50%	
人口10万対	48.5	47.4	28.7	-19.9	-41%	-1.1	-2%	-18.8	-40%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	9	8	7	-2	-22%	-1	-11%	-1	-13%
	50-64歳	7	5	6	-1	-14%	-2	-29%	1	20%
	65歳以上	7	7	2	-5	-71%	0	0%	-5	-71%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
男性	24-34歳	6	6	4	-2	-33%	0	0%	-2	-33%
	35-49歳	7	7	7	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	7	4	5	-2	-29%	-3	-43%	1	25%
	65歳以上	7	7	2	-5	-71%	0	0%	-5	-71%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	50-64歳	0	0	0	0		0		0	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	8	5	4	-4	-50%	-3	-38%	-1	-20%
	50-64歳	3	4	4	1	33%	1	33%	0	0%
	65歳以上	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	4	2	0	-4	-100%	-2	-50%	-2	-100%
	65歳以上	4	5	3	-1	-25%	1	25%	-2	-40%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)